

ブルーレイディスクプレーヤー

BDP-3140-K

BDP-3140-W



HDMI

●ご使用前に「安全上のご注意」(49～50ページ)を必ずお読みください。

●お取り扱いについてお困りのとき

http://pioneer.jp/support/av_pc/bdp/blu/

パイオニア サポート で 検索 してください。



カスタマーサポートセンター

0120-944-222 ナビダイヤル 0570-037-620

受付時間

月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜、祝日、弊社休業日を除きます。)

※「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
ナビダイヤルは、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また一部のIP電話などからはご使用になれません。

インターネットによるお客様登録のお願い

<http://pioneer.jp/support/>

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。

上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

もくじ

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

準備

付属品を確認する.....	3
リモコンに電池を入れる.....	3
ソフトウェアの更新について.....	3
再生できるディスク/ファイル.....	4
再生できるディスク.....	4
再生できないディスク.....	6
再生できるファイル.....	6
各部の名前とはたらき.....	8
リモコン.....	8
本体前面部.....	9
本体背面部.....	9
本体表示窓.....	10

接続

HDMI ケーブルについて.....	11
HDMI について.....	11
HDMI によるコントロール機能について.....	11
テレビと接続する.....	12
HDMI ケーブルで接続する.....	12
AV アンプと接続する.....	13
HDMI ケーブルで接続する.....	13
光デジタル音声ケーブルで接続する.....	14
オーディオケーブルで接続する.....	14
USB デバイスを接続する.....	15
ネットワークに接続する.....	16
LAN ケーブルで接続する.....	16
電源コードを接続する.....	16

再生

ディスク/ファイルを再生する.....	17
早見再生する(音声付き早送り).....	18
遅見再生する(音声付きスロー再生).....	18
早送り/早戻しする.....	18
チャプター/トラック/ファイルを指定して再生する.....	18
頭出しする.....	18
少し前に戻す.....	19
少し先に送る.....	19
スロー再生する.....	19
コマ送り再生する.....	19
指定した箇所を繰り返し再生する (A-B リピート再生).....	19
繰り返し再生する(リピート再生).....	19
好みの順番で再生する(プログラム再生).....	20
再生中の箇所にブックマークをつける.....	20
画像を拡大/縮小する(ズーム).....	20
写真をスライドショー再生する.....	20
アングルを切り換える.....	21

字幕を切り換える.....	21
字幕を移動する.....	21
音声を切り換える.....	21
ディスクの情報を見る.....	22
BONUSVIEW や BD-LIVE を楽しむ.....	22
再生機能について.....	23
視聴メニューを使う.....	23
指定した箇所から続けて再生する(つづき見再生).....	26
つづき見指定する.....	26
つづき見再生する.....	26
SOURCE から再生する.....	26
BD-R/-RE、DVD-R/-RW(VR フォーマット)を 再生する.....	26
画像/音声/映像ファイルを再生する.....	27
好みの順に再生する(プレイリスト).....	27
ビデオ調整機能を使用する.....	28

詳細設定

設定を変更する.....	29
設定画面を操作する.....	29
基本設定.....	30
表示設定.....	34
音声設定.....	35
システム情報画面を見る.....	36
本機のソフトウェアを更新する(アップデート).....	37

その他/困ったとき

使用上のご注意.....	38
故障かな?と思ったら.....	40
用語解説.....	45
本機で使用している登録商標とライセンスについて.....	47
仕様.....	48

安全上のご注意

絵表示の例.....	49
------------	----

保証とアフターサービス

保証書(別添)について.....	51
------------------	----

「安全上のご注意」(49 ~ 50 ページ)
を必ずお読みください。

1章

準備

付属品を確認する

リモコン×1

単4形マンガン乾電池×2

保証書×1

取扱説明書(本書)×1

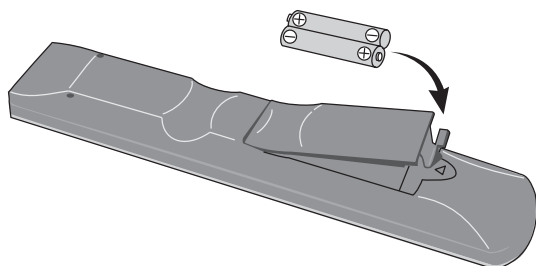
リモコンに電池を入れる

本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となる場合があります。電池の交換には、長期間使用可能な市販のアルカリ電池をお勧めします。

! ご注意

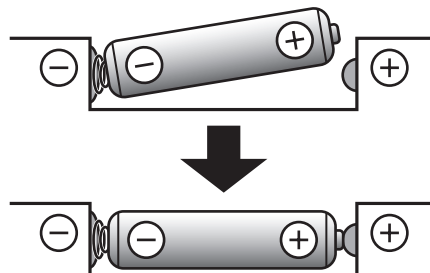
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコン内にセットする場合、極性表示(⊕極と⊖極)に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池でリモコンのマイナス端子を押し曲げないようにしてください。電池がショートし、液漏れ、発熱の原因となります。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 小さな部品は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストロブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となる場合があります。

1 裏ぶたを開ける



2 付属の乾電池(単4形×2個)を入れる

⊖側を先に入れます。



3 裏ぶたを閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

ソフトウェアの更新について

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/av_pc/bdp/blu/







再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク

下記のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

❗ ご注意

- 他機器で録画したディスクを再生するときは、必ずファイナライズしてください（本機ではファイナライズできません）。

ディスクの種類		ロゴ	アプリケーションフォーマット					
			BDMV	BDAV	DVD ビデオ	DVD VR	音楽 CD DTS-CD	データ ディスク ^{*1}
ブルーレイ ディスク (BD) ^{*2}	BD-ROM		○	○	×	×	×	×
	BD-R		○	○	×	×	×	○
	BD-RE		○	○	×	×	×	○
DVD	DVD-ROM	 	○	×	○	×	×	○
	DVD-R ^{*2,3,4}		○ ^{*5}	○ ^{*6}	○	○	×	○
	DVD-RW ^{*3,7}		○ ^{*5}	○ ^{*6}	○	○	×	○
	DVD+R ^{*2,3}		○	×	○	×	×	○
	DVD+RW ^{*3}		○	×	○	×	×	○
	CD	CD-DA (音楽 CD) ^{*8}		×	×	×	×	○
	CD-R ^{*3}		×	×	×	×	○	○
	CD-RW ^{*3}		×	×	×	×	○	○
	CD-ROM		×	×	×	×	○	○

^{*1} 映像、画像または音声ファイルが記録されているディスク

^{*2} 二層ディスクを含む。

^{*3} 本機で再生するときは、ファイナライズしてください。

^{*4} オーサリング用の DVD-R (3.95 GB、4.7 GB) は再生できません。

^{*5} AVCHD フォーマットを含む。

^{*6} AVCREC フォーマットを含む。

^{*7} Version 1.0 の DVD-RW は再生できません。

^{*8} ビデオ CD を含む。

❖ 音声フォーマットについて

本機は下記の音声フォーマットに対応しています。

- Dolby TrueHD
- Dolby Digital
- DTS-HD High Resolution Audio
- MPEG オーディオ (AAC)
- Dolby Digital Plus
- DTS-HD Master Audio
- DTS Digital Surround
- リニア PCM

Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master Audio、またはDTS-HD High Resolution Audioを楽しむには、本機と各音声フォーマットに対応しているAVアンプを、HDMIケーブルを使って接続することをお勧めします。また、各音声フォーマットが収録されているBDをセットしたあとに、メニュー画面でその音声フォーマットを選んでください。

各音声の出力条件については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください(36ページ)。

❖ BDの再生について

- 以下の規格に対応しているBD(BDMV)を再生できます。
 - Blu-ray Disc Read-Only (ROM) Format Version 2
 - Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 2
 - Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 3
- 以下の規格に対応しているBD(BDAV)を再生できます。
 - Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 1
 - Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 2

BD-ROM Profile 2に対応しています。

第2映像(ピクチャーインピクチャー)や第2音声(セカンダリーオーディオ)などのBONUSVIEW機能を楽しめます。BONUSVIEW機能で使用するデータ(第2映像(ピクチャーインピクチャー)、第2音声(セカンダリーオーディオ))はメモリーに記憶されることがあります。第2映像や第2音声の再生などについてはディスクの説明書をご覧ください。

インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声/字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどのBD-LIVE機能が楽しめます。BD-LIVE機能でダウンロードしたデータ(予告編映像など)はメモリーに記憶されます。BD-LIVE機能についてはディスクの説明書をご覧ください。

BD-ROMでは、BD-J(Java)アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含むよりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。

❖ DVDの再生について

RW
COMPATIBLE

この表示はVRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)記録されたDVD-RWが再生できる機能を示します。ただし、1回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM対応機器で再生が可能です。

❖ リージョンナンバー(地域番号)について

ブルーレイディスクプレーヤーとBD-ROMまたはDVDビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機(日本向け)のリージョンナンバーは

- BD-ROM : A
- DVDビデオ : 2

です。この番号が含まれていないディスクは再生できません。本機で再生できるディスクは下記のとおりです。

- BD : A (Aを含む)、ALL
- DVD : 2 (2を含む)、ALL

❖ CDの再生について

- コピーコントロールCDについて…この製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

❖ DualDiscの再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です(DVDオーディオは除く)。
- DVD面ではない、オーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入したり取り出したりするときに、再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷がついた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

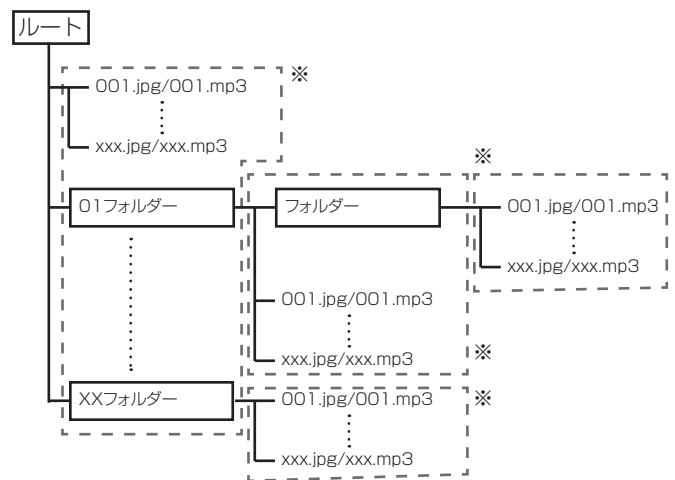
❖ コンピューターやBD/DVDレコーダーで作成したディスクの再生について

- アプリケーションの設定やコンピューターの環境設定によっては、コンピューターで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。
- コンピューターやBD/DVDレコーダーで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくない場合、再生できないことがあります。

❖ 映像ファイル、音声ファイル、画像ファイルとフォルダーについて

下記のようにディスクやUSBデバイスにフォルダーを作成すると、音声ファイルや画像ファイルを本機で再生することができます。

フォルダー構成例：



※…ルートディレクトリーを含め、1つのフォルダーに含まれるフォルダーとファイルの数は最大256個です。また、フォルダー階層は最大5階層にしてください。

お知らせ

- 本機で表示されるファイル名やフォルダー名は、コンピュータ上の表示と異なることがあります。
- ディスクではアスキーコード順、USB デバイスでは記録した順に再生されます。
- ディスク、USB デバイスではフォルダーをまたいだ再生はできません。

❖ 無許可コピーディスクの再生について

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

❖ 著作権保護について

ブルーレイディスク™ や DVD、およびインターネットやネットワーク経由で再生するコンテンツの一部では、著作権保護技術が採用されています。

著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。

著作権保護の規定の更新により、本製品の購入日によって制限の内容が異なる場合があります。

また、購入後のソフトウェアのアップデートにより、制限の内容が更新される可能性があります。

再生できないディスク

- フジカラー CD
- コダックピクチャー CD
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- SACD

上記以外にも再生できないディスクがあります。

本機は NTSC (日本のテレビ方式) に適合しています。ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに「NTSC」と表記されているディスクを再生できます。また、PAL 方式のディスクも再生可能です。

お知らせ

- 4 ページの「再生できるディスク」の表のロゴが付いていても、再生できないディスクもあります。
- 8 cm ディスクを再生するときは、ディスクトレイの 8 cm ディスク専用の枠にセットしてください。アダプターは不要です。BD-ROM の 8 cm ディスクは再生できません。

再生できるファイル

BD、DVD、CD または USB デバイスに記録されている動画、画像および音声ファイルを再生できます。

❖ 動画ファイルの対応フォーマット

● DivX Plus® HD

◆ DivX Certified® は、プレミアムコンテンツを含む高画質 1080p HD の DivX® および DivX Plus® HD (H.264/MKV) 動画を再生。

◆ DivX Plus® HD デバイスは、高画質な DivX® (.divx、.avi) および DivX Plus HD (.mkv) 動画再生のテストを受けています。DivX のロゴは、好きな DivX の映画を自由に再生できるという安心の証です。

◆ DivX Certified® デバイスは、DivX® の動画再生における厳密なテストに合格した製品です。

購入した DivX 映画を再生するには、まずお客様のデバイスを vod.divx.com で登録してください。登録コードは、[本体設定] → [再生] → [DivX® VOD DRM] で確認できます (31 ページ)。

お知らせ

● 重要

DivX VOD (ビデオ・オン・デマンド) のコンテンツは DivX DRM (デジタル・ライツ・マネジメント) システムによって保護されています。

認可を受けていない DivX VOD (ビデオ・オン・デマンド) コンテンツを再生しようとすると、エラーメッセージが表示され、再生することができません。

詳しくは、www.divx.com/vod を参照してください。

- DivX VOD (ビデオ・オン・デマンド) ファイルによっては、再生回数を制限されている場合があります。このようなファイルを再生する際は、残りの再生可能な回数が表示され、この数が 0 になると再生できません。([レンタル期間が切れています。]と表示されます。) 制限されていないファイルについては、何度でも再生することができます。このとき、残りの再生可能な回数は表示されません。
- DivX ビデオが含まれていないファイルは拡張子が ".avi" であっても再生できません。

❖ 再生できるファイル一覧

再生できるファイル (拡張子)	再生できるメディア		ファイルの仕様
	BD-R/RE/-R DL/ RE DL/-R LTH、 DVD-R/RW/-R DL/ +R/+RW/+R DL、 CD-R/RW	USB デバイス ^{*1}	
MP3 (.mp3)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：48 kHz まで ビットレート：320 kbps まで 音声タイプ：MPEG1 オーディオレイヤー 3
WMA ^{*2} (.wma)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：48 kHz まで ビットレート：192 kbps まで 音声タイプ：WMA バージョン 9
AAC ^{*3} (.m4a)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：96 kHz まで ビットレート：192 kbps まで 音声タイプ：MPEG4-AAC
MPEG2 AAC (.aac)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：48 kHz まで ビットレート：320 kbps まで 音声タイプ：MPEG2-AAC
LPCM (.wav)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：192 kHz まで ビット数：16bit、24bit チャンネル数：2ch
FLAC (.flac)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：192 kHz まで ビット数：16bit、24bit チャンネル数：2ch
JPEG (.jpg/.jpeg)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度：4 000 x 3 000 ピクセル
DivX (.avi/.divx/.mkv)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 対応バージョン：DivX Plus[®] HD まで 最大解像度：1 920 x 1 080 まで (DivX Plus[®] HD)
MP4 (.mp4)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度：1 920 x 1 080 まで ビデオ：MPEG4、MPEG-4 AVC (level 4.1) オーディオ：AAC、MP3
WMV (.wmv)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度：1 280 x 720 まで ビデオ：WMV9、WMV9AP (VC-1) オーディオ：WMA
AVI (.avi)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度 1 920 x 1 080 まで ビデオ：MPEG4 オーディオ：MP3、AAC
3GP (.3gp)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度 1 920 x 1 080 まで、8 Mbps まで ビデオ：H.263、MPEG4、H.264 オーディオ：MPEG-4 AAC
FLV (.flv)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ：Sorenson H.263 (FLV1)、VP6 (FLV4)、H.264 オーディオ：MP3、AAC

*1 本機は FAT16、FAT32 および NTFS のファイルシステムに対応しています。

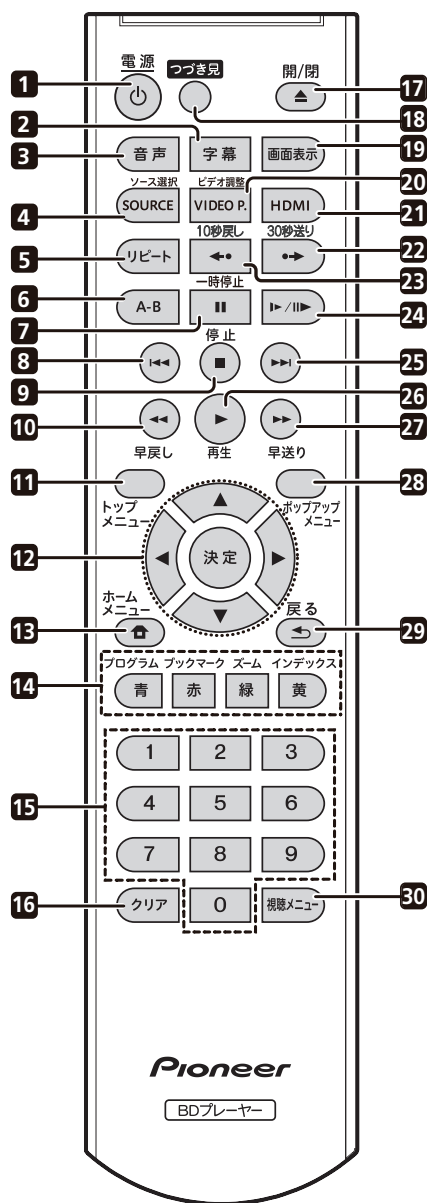
*2 WMA Pro や、Lossless、Voice には対応していません。

*3 アップルロスレスオーディオコーデックには対応していません。

お知らせ

- 上記に記載の再生できるファイルでも、ファイルの構成によっては再生できないことがあります。
- DRM (デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません。

リモコン



- 1 電源
電源をオン/オフ(スタンバイ状態)にします。
- 2 字幕 (21 ページ)
- 3 音声 (21 ページ)
- 4 ソース選択 (26 ページ)
- 5 リピート (19 ページ)
- 6 A-B (19 ページ)
- 7 ■ 一時停止 (17 ページ)
- 8 ◀◀ (18 ページ)
- 9 ■ 停止 (17 ページ)
- 10 ◀◀ 早戻し (18 ページ)
- 11 トップメニュー
BD-ROM または DVD ビデオのトップメニュー画面を表示します。

12 ▲/▼/◀/▶
項目を選ぶ、または設定を変更するときなどに使います。また、カーソルを移動します。

決定

選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

13 ㊦ ホームメニュー (29 ページ)

14 青 / 赤 / 緑 / 黄

BD-ROM のメニュー画面を操作するときに使います。

プログラム (20 ページ)

ブックマーク (20 ページ)

ズーム (20 ページ)

インデックス (20 ページ)

15 数字ボタン

再生したいタイトル / チャプター / トラック / ファイルの番号を指定して再生するとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

16 クリア

番号の入力を取り消すときなどに使います。

17 ▲ 開 / 閉

ディスクトレイを開閉します。(17 ページ)

18 つづき見 (26 ページ)

19 画面表示 (22 ページ)

20 ビデオ調整 (28 ページ)

21 HDMI (34 ページ)

HDMI 端子から出力される映像の解像度を切り換えます。

22 ●▶ 30 秒送り (19 ページ)

再生中に押すと、30 秒先に進みます。

23 ◀● 10 秒戻し (19 ページ)

再生中に押すと、10 秒前に戻ります。

24 ▶▶ (18 ページ)

25 ▶▶▶ (18 ページ)

26 ▶ 再生 (17 ページ)

27 ▶▶ 早送り (18 ページ)

28 ポップアップメニュー (27 ページ)

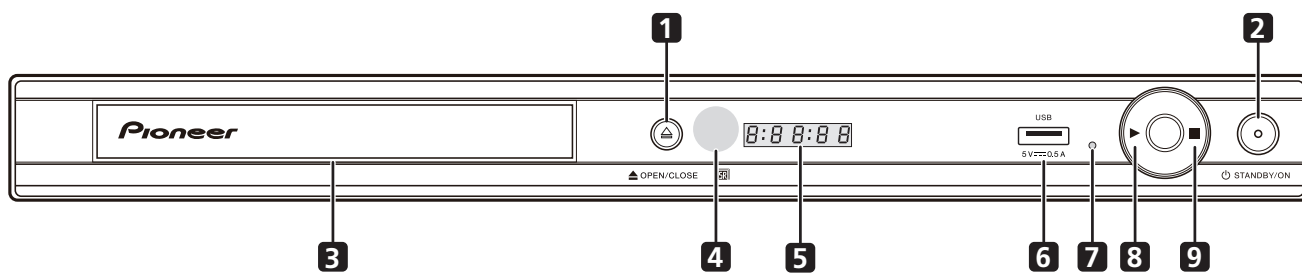
BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を表示します。

29 ◀ 戻る

1 つ前の画面に戻ります。

30 視聴メニュー (23 ページ)

本体前面部

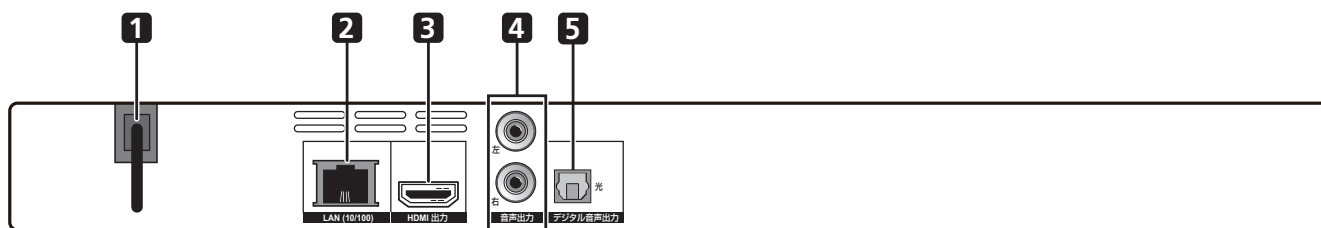


- 1 ▲ OPEN/CLOSE**
ディスクトレイを開閉します。
- 2 〇 STANDBY/ON**
電源をオン/オフ(スタンバイ状態)にします。
- 3 ディスクトレイ**
- 4 リモコン受光部**
約 7 m 以内の距離からここにリモコンを向けて操作します。
本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。
- 5 本体表示窓**
文字列によっては、アルファベットの大文字、小文字が混ざって表示されることがあります。
- 6 USB 端子**
USB デバイスを接続します。
- 7 リセットボタン**
電源をオフ(スタンバイ状態)にできないときに、細い棒を使って押します。押すと本機の電源がオフ(スタンバイ状態)になります。〇 STANDBY/ON ボタンを押して電源をオンにすると再度操作ができるようになります。
- 8 ▶**
再生を開始します。
- 9 ■**
再生を停止します。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン(付属の場合)のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 D3-7-12-5-2a_A1_Ja

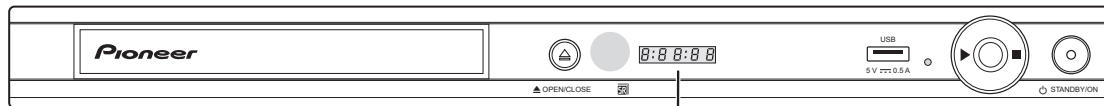
本体背面部



- 1 電源コード (16 ページ)**
- 2 LAN(10/100) 端子 (16 ページ)**
- 3 HDMI 出力端子 (12 ページ、13 ページ)**
- 4 音声出力端子 (14 ページ)**
- 5 デジタル音声出力 (光) 端子 (14 ページ)**

本体表示窓

表示窓に、操作状況やディスクの状態が表示されます。状況によって表示される内容は異なります。



表示窓

表示	操作状況
hELLO	電源を入れたとき
oFF	電源を切るとき
rEAdY	ディスクが入っていないとき
oPEn	ディスクトレイを開けたとき
CLoSE	ディスクトレイを閉めたとき
LoAd	ディスク読み込み中
bDMV	BDMV ディスクを入れたとき
bDAV	BDAV ディスクを入れたとき
dVD	DVD を入れたとき
[d	CD を入れたとき
dATA	データディスクを入れたとき
uSb In	USB デバイスの接続を確認しているとき
uSbof	USB デバイスを取り外したとき

表示	操作状況
0:00:00	再生経過時間
SEtUP	ホームメニューを表示しているとき
SCnSr	スクリーンセーバーが動作しているとき
Src	SOURCE を表示しているとき
mEnu	・ブルーレイディスク挿入中： トップメニューを表示しているとき ・DVD 挿入中： Root メニューを表示しているとき
Pop	ブルーレイディスク挿入中にポップアップメニューを表示しているとき
FILE	DVD 挿入中にタイトルメニューを表示しているとき
StoP	停止したとき（リジューム状態）

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

HDMI ケーブルについて

1本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号で HDMI 対応機器に伝送できます。

お知らせ

- お使いの HDMI ケーブルによっては 1080p 映像が出力されないことがあります。

HDMI について

本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI™) 技術を組み込んでいます。

本機は、Deep Color に対応しています。

従来の機器では YCbCr 4:4:4 または RGB のカラースペースにおいて、Y と Cb と Cr または R と G と B が 8 bit ずつの映像信号を伝送できましたが、Deep Color 対応の機器では 8 bit を超えた bit 数の信号を伝送できます。Deep Color に対応したテレビを接続すると、より滑らかなグラデーション(色の変化)を再現できます。

本機は、動画色空間規格の国際規格のひとつである「xvYCC」に準拠した「x.v.Color」に対応しています。

「x.v.Color」表示に対応したテレビなどと接続し、xvYCC に準拠した映像信号を再生した場合、従来より色再現性が拡大され、自然界の色をより忠実に再現できます。

「x.v.Color」とは、動画用広色域色空間の国際規格「xvYCC」に準拠した機器に付す呼称です。

❖ 本機の HDMI 出力端子から伝送できる音声

- Dolby TrueHD
- Dolby Digital Plus
- Dolby Digital
- DTS-HD Master Audio
- DTS-HD High Resolution Audio
- DTS Digital Surround
- MPEG-2 AAC
- リニア PCM

詳しくは、「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください(36 ページ)。

❖ HDMI ハイスピード伝送について

本機は、1080/60p および Deep Color の映像信号を出力できます。お使いのテレビが 1080/60p または Deep Color に対応しているときは、本機とテレビの性能を発揮するためにハイスピード HDMI®/™ケーブルをお使いください。

ハイスピード HDMI®/™ケーブルは 1080p 映像信号の伝送試験に合格しています。また、Deep Color に対応した 1080/24p、1080/60i、1080/60p、および 720/60p の映像信号も伝送できます。

❖ DVI 機器と接続したとき

- HDCP に対応していない DVI 機器(コンピューターのディスプレイなど)には接続できません。HDCP とは、DVI/HDMI 接続で音声・映像コンテンツを保護するための規格です。
- 音声が出力されません。オーディオケーブルなどで接続してください。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続したとき、DVI 機器によっては正常に動作しないことがあります。

HDMI によるコントロール機能について

HDMI によるコントロール機能に対応しているパイオニア製のテレビや AV 機器(AV アンプなど)と本機を HDMI ケーブルで接続すると、テレビなどから本機を操作できます。

テレビや AV 機器(AV アンプなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

❖ HDMI によるコントロール機能を使うには

- HDMI によるコントロール機能は、HDMI ケーブルで接続されているすべての機器の HDMI によるコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。
- 接続および各機器の設定が終わったら、本機の映像がテレビに出力されているか必ずご確認ください(接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときもご確認ください)。本機の映像がテレビに正しく出力されていないと、HDMI によるコントロール機能が正常に動作しないことがあります。
- HDMI によるコントロール機能を使うときはハイスピード HDMI®/™ケーブルをお使いください。それ以外の HDMI ケーブルでは HDMI によるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
- 機器によっては HDMI によるコントロール機能が「KURO LINK」または「HDMI コントロール」と表記されていることがあります。
- 本機は HDMI で定められた標準コマンドで動作しますが、他社の機器の動作は保証できません。

❖ HDMI によるコントロール機能でできること

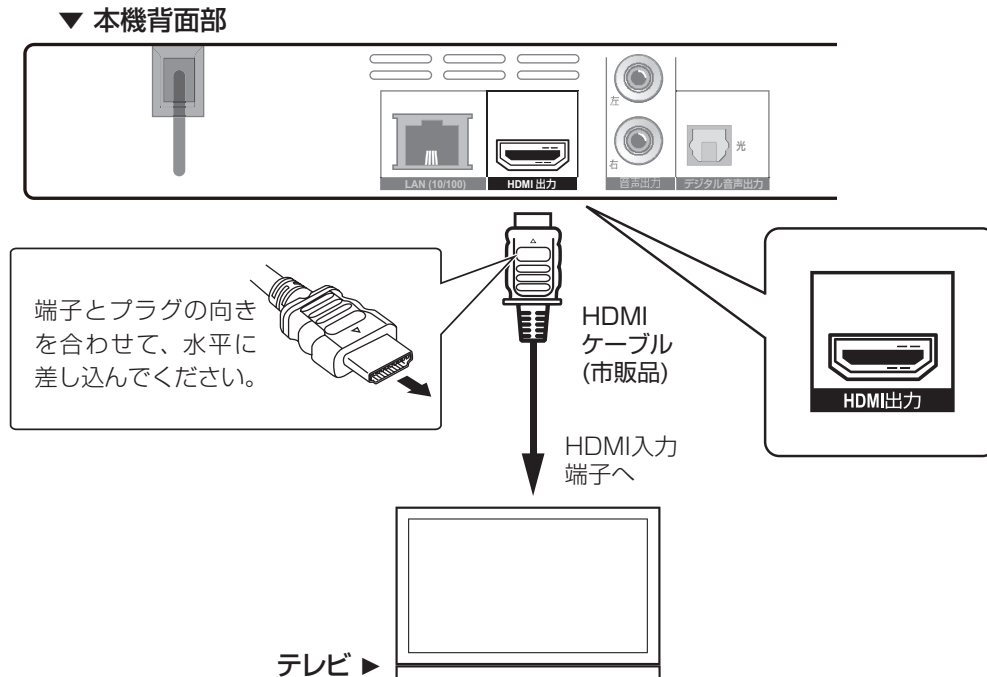
- **テレビからの操作機能**
テレビから、本機の再生、停止、メニューの表示などの操作ができます。
- **オートセレクト機能**
本機の再生を始める、またはホームメニューなどを表示すると、テレビや AV 機器(AV アンプなど)の入力が自動で切り換わります。入力が切り換わると、再生画面またはホームメニューがテレビに表示されます。
- **電源連動機能**
本機の再生を始める、またはホームメニューなどを表示すると、テレビの電源がオフだったときは、自動でオンになります。また、テレビの電源をオフにすると、本機の電源も自動でオフになります。

HDMI ケーブルで接続する



HDMI ケーブルで AV アンプも一緒に接続するときは、「AV アンプと接続する」(13 ページ) をご覧ください。

❗ ご注意

- ケーブルは、プラグを持って抜き差ししてください。
- プラグに負担がかかると、接触不良が発生して、映像が出力されないことがあります。



❖ 本機とテレビの電源を入れる

- 1 本体の  STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの  (電源ボタン) を押して、本機の電源を入れる
- 2 テレビの電源を入れる
- 3 テレビの入力を、本機を接続した外部入力 (例：HDMI 1) に切り換える

- テレビの操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

❖ 接続がうまくいかないときは、HDMI ケーブルを抜き差ししてから、手順 1 に戻って操作を行ってください。

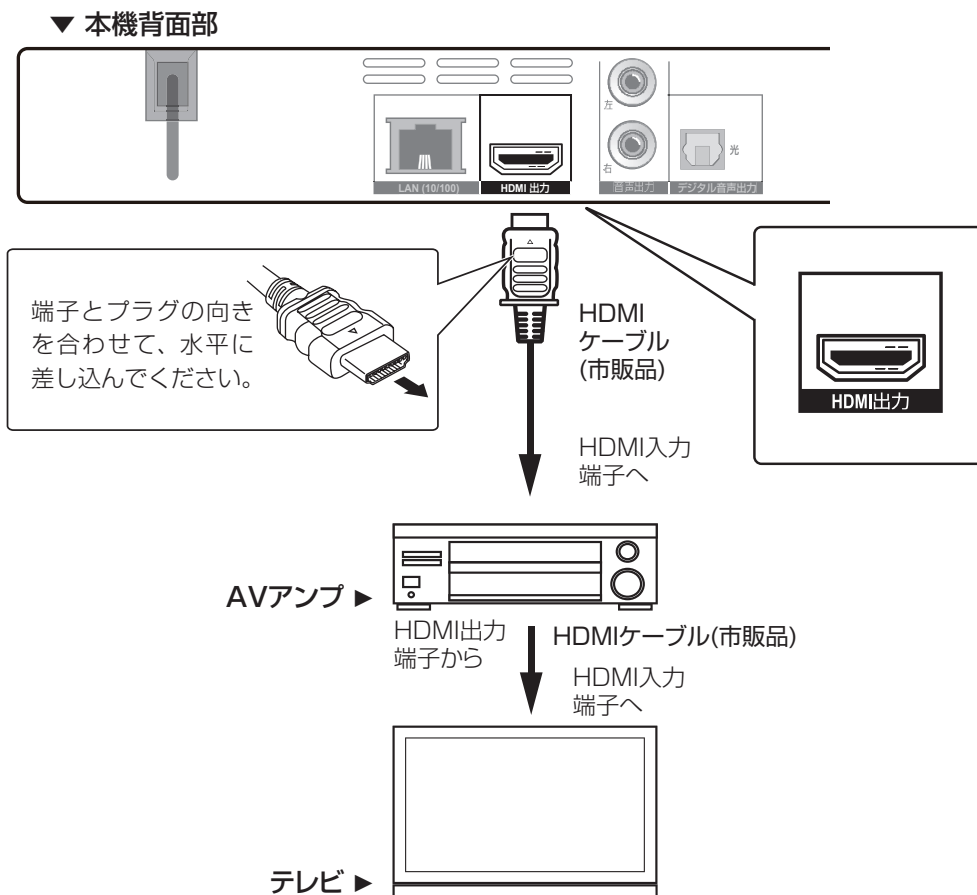
AV アンプと接続する

Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、Dolby Digital、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、DTS Digital Surround、LPCM または AAC などのサラウンドサウンドを楽しむには、AV アンプと接続します。AV アンプとテレビ、および AV アンプとスピーカーの接続については、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。



HDMI ケーブルで接続する

❗ ご注意

- ケーブルは、プラグを持って抜き差ししてください。
- プラグに負担がかかると、接触不良が発生して、映像が出力されないことがあります。



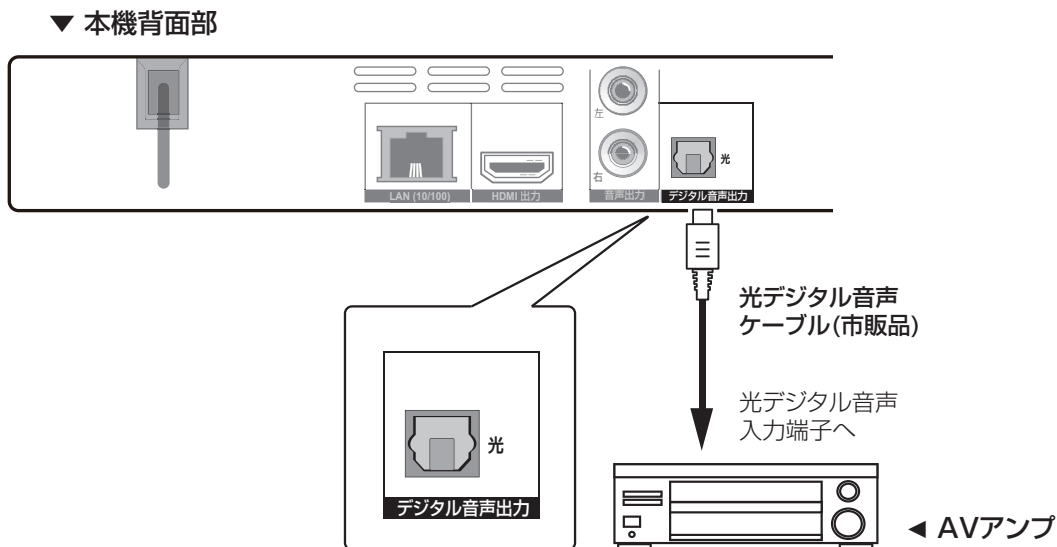
❖ 本機、AV アンプ、テレビの電源を入れる

- 1 本体の  STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの  (電源ボタン) を押して、本機の電源を入れる
 - 2 AV アンプとテレビの電源を入れる
 - 3 AV アンプとテレビの入力を、本機を接続した外部入力 (例 : HDMI 1) に切り換える
- AV アンプとテレビの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

❖ 接続がうまくいかないときは、HDMI ケーブルを抜き差ししてから、手順 1 に戻って操作を行ってください。

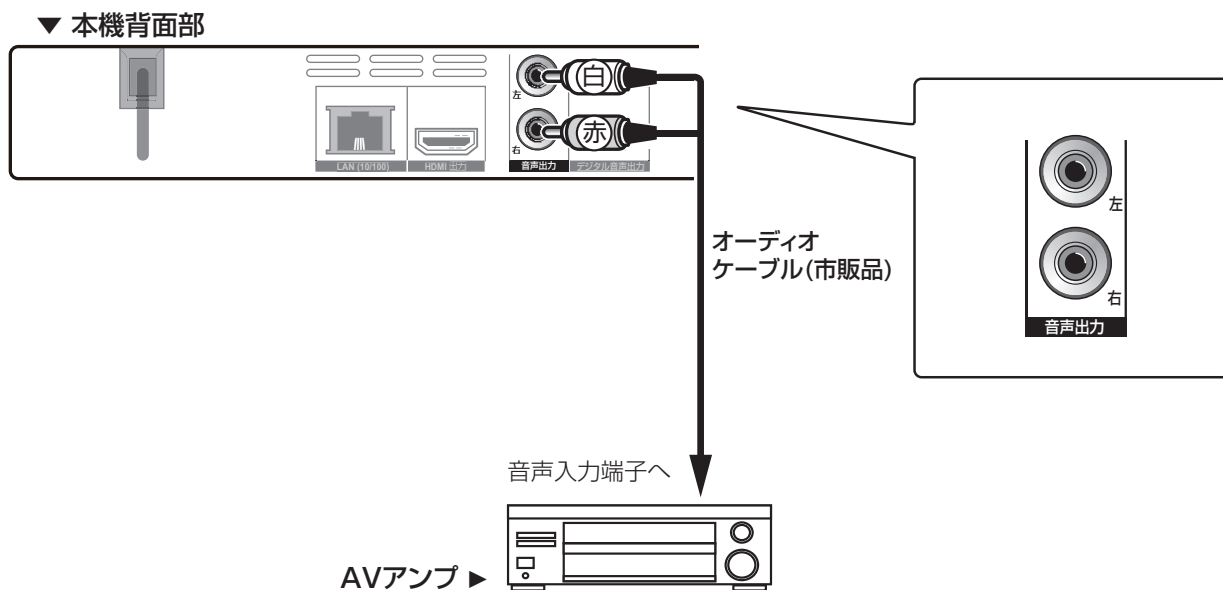
光デジタル音声ケーブルで接続する

光デジタル音声ケーブルで接続する場合は、アンプ経由では映像が出力されません。HDMI ケーブルでテレビと接続してください (12 ページ)。



オーディオケーブルで接続する

オーディオケーブルで接続する場合は、アンプ経由では映像が出力されません。HDMI ケーブルでテレビと接続してください (12 ページ)。



お知らせ

- アナログ出力音声は、本機の設定や再生しているコンテンツによっては音量が小さく出力されることがあります。
- オーディオケーブルと HDMI ケーブルを 2 本接続している場合、どちらのケーブルからも音声が出力されます。

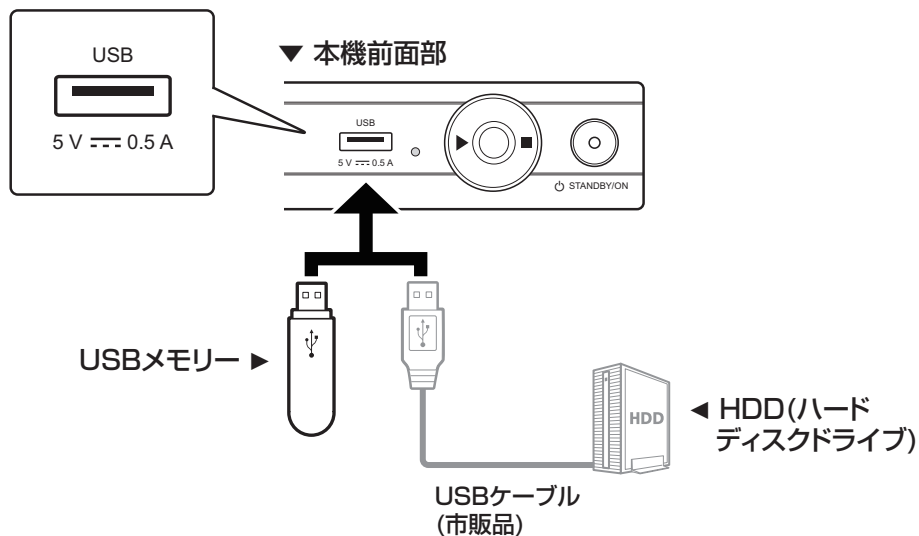
USB デバイスを接続する

本機に接続できる USB デバイスは下記のとおりです。

- USB2.0 対応の USB メモリー (容量 1 GB 以上、推奨 2 GB 以上) または HDD (容量 2 TB 以下)
- ファイルシステムが FAT16、FAT32、または NTFS

！ ご注意

- USB デバイスを接続したり取り外したりするときは、必ず本機の電源をオフにしてください。
- HDD を使用するときは、必ず HDD の電源をオンしてから本機の電源をオンにしてください。
- USB デバイス書き込み禁止になっているときは、書き込み禁止を解除してください。
- USB ケーブルは、プラグを持って端子とプラグの向きを合わせて水平に抜き差ししてください。
- 端子に負担がかかると、接触不良が発生して、USB デバイスのデータが読み書きできないことがあります。
- USB デバイスを接続して本機の電源をオンにしているときは、電源コードを抜かないでください。



📌 お知らせ

- メモリーカードや USB ハブを使用すると、本機が正しく動作しないことがあります。
- USB ケーブルは、長さ 2 m 未満のケーブルを使用してください。
- FAT16、FAT32、または NTFS 以外のファイルシステムで初期化されているときは使用できません。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、認識しないことがあります。
- USB デバイスによっては動作しないことがあります。
- 接続する USB デバイスの動作保証はできません。

ネットワークに接続する

インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。インターネットにつながっているルーターと本機を接続します。

接続するネットワーク環境に有効な DHCP サーバーがあるときは、IP アドレスは自動で設定されます。有効な DHCP サーバーがないときは、IP アドレスを手動で設定してください (33 ページ)。

お知らせ

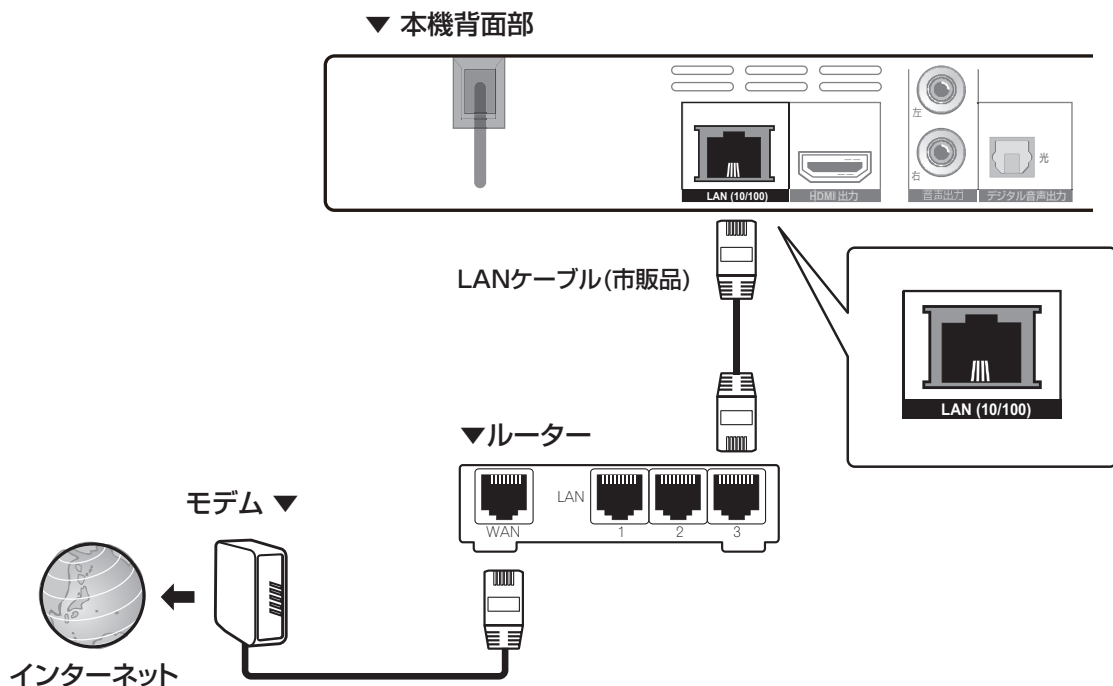
- ・インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- ・プロバイダーによっては個別でネットワークの設定が必要なことがあります (31 ページ)。
- ・弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関連する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。

LAN ケーブルで接続する

本機とルーターを市販の LAN ケーブルでつなぎます。

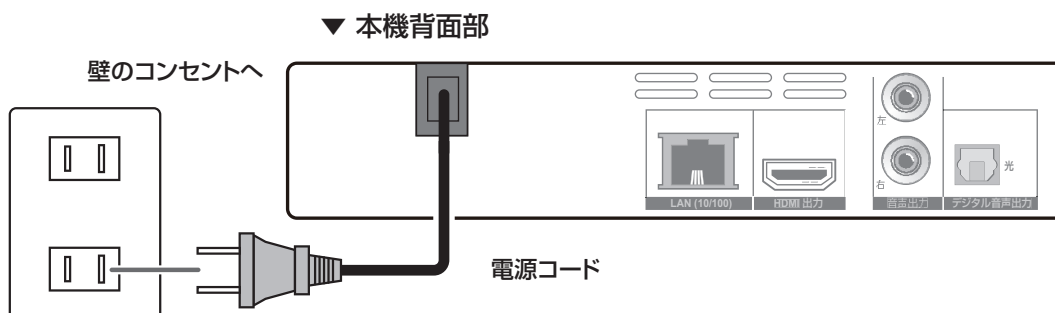
ご注意

- ・LAN ケーブルはストレートケーブル (CAT5 以上) をお使いください。
- ・必ず 10BASE-T/100BASE-TX 対応のイーサネットハブやルーターに接続してください。



電源コードを接続する

電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。




ディスク/ファイルを再生する

ここでは、本機の主な操作について説明します。


再生できるディスクについては「再生できるディスク」をご覧ください(4 ページ)。再生できるファイルについては「再生できるファイル」をご覧ください(6 ページ)。ディスクに記録されている画像や音声ファイルは、SOURCE を使って再生します(26 ページ)。

電源

1  を押して電源をオンにする



- あらかじめテレビの電源をオンにして、入力を切り換えておいてください。
- はじめてお使いになるときは、「はじめに」の画面が表示されます。 を押してください。

開/閉

2  を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする お知らせ

- 印刷面を上にしてディスクをセットしてください。
- ディスクの読み込みには数十秒かかります。読み込みが終了すると本体表示窓にディスクの種類が表示されます。
- BDレコーダーで録画するときに、視聴制限を設定されたBDの視聴制限を解除するには、[パスワード変更]で登録したパスワードを入力してください(32 ページ)。

3  を押して再生する

- 一時停止するには、再生中に  を押します。
- 停止するには、再生中に  を押します。




 お知らせ

- ディスクトレイを閉じると自動で再生を始めるディスクもあります。
- BD-R/-RE、DVD-R/-RW(VRフォーマット)では、自動でSOURCEを表示します(26 ページ)。
- BD-ROM/DVDビデオには、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、[パスワード変更]で登録したパスワードを入力してください(32 ページ)。
- BD-R/-REには、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。
- 映像や音声が入力されず出力されないときは、「故障かな? と思ったら」をご覧ください(40 ページ)。

❖ メニュー画面(ディスクメニュー)が表示されたとき

ディスクによっては、再生を始めると自動でメニュー画面を表示する場合があります。メニュー画面の内容や操作方法は、ディスクによって異なります。

❖ 停止した場所から再生する(つづき再生)

- 再生中に  を押すと、停止した場所を記憶します。
-  を押すと停止した場所から再生します。
- 画像ファイルをスライドショー再生していたときは、表示されていた画像ファイルから再生します。
- つづき再生を解除するには、停止中に  を押します。


 お知らせ

- 下記のとおり、つづき再生は自動で解除されます。
 - ディスクトレイを開けたとき。
 - ファイルのリスト画面を切り換えたとき。
 - 電源をオフにしたとき。
- 再生したい箇所を指定してつづき見再生したいときは、26 ページをご覧ください。
- つづき再生できないディスクもあります。
- [ラストメモリー]を[オン]にすると、ディスクトレイを開けたあとや電源をオフにしたあとでも、続きから再生できます(31 ページ)。

早見再生する（音声付き早送り）

音声を出しながら、映像を約 1.5 倍速で再生します。

1 BD または DVD の再生中に を押す

- 早見再生中に  を押すと、早送りに切り換わります。

❖ 通常の再生に戻すには

 を押します。

- 一時停止を解除したときも通常の再生に戻ります。


お知らせ

- 早見再生中の音声は、本体の設定によらず PCM で出力されます。
- 早見再生中に音声を切り換えることはできません。
- Dolby TrueHD や DTS-HD Master Audio など、音声フォーマットによっては、早送りになり音声が出ない場合があります。
- 各音声の出力条件については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください (36 ページ)。

遅見再生する（音声付きスロー再生）

音声を出しながら、映像を約 0.8 倍速で再生します。

1 BD または DVD の再生中に を押す

- 遅見再生中に  を押すと、スロー再生（音声なし）に切り換わります。

❖ 通常の再生に戻すには

 を押します。

- 一時停止を解除したときも通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 遅見再生中の音声は、本体の設定によらず PCM で出力されます。
- 遅見再生中に音声を切り換えることはできません。
- Dolby TrueHD や DTS-HD Master Audio など、音声フォーマットによっては、スロー再生になり音声が出ない場合があります。
- 各音声の出力条件については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください (36 ページ)。

早送り / 早戻しする

1 再生中や早見再生中に または を押す





- 押すたびに速さを切り換えられます（テレビ画面に速さが表示されます）。速さの段階はディスクまたはファイルによって異なります。

❖ 通常の再生に戻すには

 を押します。

チャプター / トラック / ファイルを指定して再生する

1 再生中に選択したいチャプター / トラック / ファイル番号を入力する




- 数字ボタン ( ~ ) で番号を入力して、
 を押します。
-  を押すと、入力した内容を取り消します。

お知らせ

- セットしたディスクが CD の場合、画面に Pioneer ロゴが表示された状態でもトラックを指定して再生できます。
- 再生しているディスクが CD の場合、一時停止中もトラックを指定して再生できます。

頭出しする

1 または を押す


-  を押すと、次のチャプター / トラック / ファイルの先頭に進みます。
- 映像または音声ファイルの再生中に  を押すと、再生中のチャプター / トラック / ファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。
- 画像ファイルの再生中に  を押すと、1 つ前のファイルに戻ります。

お知らせ

- 次のタイトルに進んだり、前のタイトルに戻すことはできません。タイトルはメニュー画面や SOURCE 画面から選びます。


少し前に戻す

再生中に押すと、10 秒前に戻ります。

- 再生中に  を押す

少し先に送る

再生中に押すと、30 秒先に進みます。

- 再生中に  を押す

スロー再生する


- 再生中や遅見再生中に  を押す

- 押すたびに速さを切り換えられます（テレビ画面に速さが表示されます）。
- 逆スロー再生はできません。

❖ 通常の再生に戻すには



コマ送り再生する

- 一時停止中に  を押す

- 押すたびにコマ送りします。
- コマ戻しはできません。

❖ 通常の再生に戻すには



指定した箇所を繰り返し再生する (A-B リpeat再生)

1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。

- 再生中に A-B リpeat再生を始める箇所で  を押す


- テレビ画面に [A-B] と表示されます。

2 A-B リpeat再生を終了する箇所で

 を押す

- テレビ画面に [A-B] と表示され、A-B リpeat再生を始めます。

❖ A-B リpeat再生を解除するには


A-B リpeat再生中に  を押します。

お知らせ













- 下記のとおり A-B リpeat再生は解除されます。
 - リpeat範囲外をサーチしたとき。
 - 他のリpeatまたはランダム / シャッフル再生を始めたとき。

繰り返し再生する (リpeat再生)


再生中のディスク / タイトル / チャプター / トラック / ファイルを繰り返し再生します。

- 再生中に  を押す

- 押すたびに、リpeatモードを切り換えられます。リpeatモードは以下のように切り換わります（テレビ画面に表示されます）。

再生中	リpeatモード
	 (再生中のチャプター) →  (再生中のタイトル)
	 (再生中のチャプター) →  (再生中のタイトル) →  (すべてのタイトル)
  	 (再生中のトラック / ファイル) →  (すべてのトラック / フォルダー内のすべてのファイル)

❖ リpeat再生を解除するには

再生中に  をマークが表示されなくなるまで繰り返し押します。

お知らせ




- 下記のとおり、リpeat再生は解除されます。
 - リpeat範囲外をサーチしたとき。
 - 他のリpeatまたはランダム / シャッフル再生を始めたとき。

お好みの順番で再生する (プログラム再生)




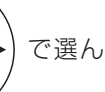

1 再生中に を押す

- プログラム画面が表示されます。

2 プログラム番号を選ぶ

 /  で選んで、 を押します。


3 再生するトラック / タイトル / チャプターを選ぶ




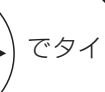

 /  /  /  で選んで、 を押します。

4 を押して再生する

- 再生が始まります。

❖ プログラムの内容を修正するには

修正するプログラム番号を選んで、 を押します。

 /  /  /  でタイトル / チャプターなどを選んで、 を押します。

❖ プログラムを消すには

- 消したいプログラム番号を選んで、 を押します。

- プログラムをすべて取り消すには、 を押します。

お知らせ

- 音楽 CD のときは、手順 3 でトラック (Track) 番号を入力します。
- BD でこの機能は使用できません。

再生中の箇所にブックマークをつける

再生中の映像の好きな場面にブックマークをつけ、あとでその場面から再生できます。

1 再生中に を押す




- ブックマークが登録されます。
- 最大で 12 か所まで登録できます。登録数がいっぱいになるときは、[0] が表示されます。

❖ 登録した箇所を再生する

1 を押し続ける

- ブックマーク一覧が表示されます。

2 再生するブックマークを選んで再生する

 /  で選んで、 を押します。

- 選んだブックマークから再生が始まります。

❖ ブックマークを消すには

消したいブックマークを選んで、 を押します。

お知らせ

- ブックマークできないディスクや場面もあります。
- 下記のとおりブックマークは解除されます。
 - 電源をオフにしたとき。
 - ディスクトレイを開けたとき。

画像を拡大 / 縮小する (ズーム)

1 再生中に を押す

- 押すたびに倍率を切り換えられます。倍率は以下のように切り換わります (テレビ画面表示されます)。
[ズーム 2x] → [ズーム 3x] → [ズーム 4x] → [ズーム 1/2] → [ズーム 1/3] → [ズーム 1/4] → ノーマル (表示されません)


お知らせ

- ズームできないディスクもあります。

写真をスライドショー再生する

写真を自動で切り換えて表示します。


1 再生中に を押す

- 写真を一度に 12 枚ずつサムネイル表示します。
- 写真を選び  を押すと、選んだ写真からスライドショーが始まります。

❖ 前後のページに移動するには


 または  を押します。

❖ サムネイル表示を解除するには

もう一度  を押します。

❖ 写真を回転 / 反転する

スライドショー再生中または一時停止中に

を押すと、下記のように表示が切り換わります。

 : 右に 90 度回転


 : 左に 90 度回転

 : 上下方向にミラー反転

 : 左右方向にミラー反転

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている BD-ROM または DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。

1 再生中に  を押す

2 [アングル] を選ぶ

- 現在のアングルと収録されているアングルの総数がテレビ画面に表示されます。
- アングルが切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

お知らせ

- アングルを切り換えられないディスクもあります。


字幕を切り換える

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えられます。


❗ ご注意

- レコーダーで字幕放送を録画したディスクでは字幕は表示されません。また、レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。録画した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。


1 再生中に  を押す

- 現在の字幕と収録されている字幕の総数がテレビ画面に表示されます。字幕を切り換えるには、再度  を押します。

- 視聴メニューから [字幕] を選んでも切り換えられます。

-  を押しても字幕が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

❖ 字幕を消すには

 を押す、または視聴メニューから [字幕] を選んで、設定を [オフ] にしてください。

お知らせ

- ファイルによっては、字幕が正常に表示されない場合があります。

字幕を移動する

BD-ROM または DVD ビデオを再生中に、字幕の位置を移動できます。

1 BD-ROM または DVD ビデオを再生し、テレビ画面に字幕を表示する

2  を 2 秒以上押し続ける

- 字幕移動モードになります。
- テレビ画面に、[字幕移動モード] と表示されます。


3  /  で字幕の位置を移動する

❖ 設定を終了するには

 を押します。

音声を切り換える


複数の音声収録されているディスクやファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。

1 再生中に  を押す

- 現在の音声と収録されている音声の総数がテレビ画面に表示されます。

音声を切り換えるには、再度  を押します。

- 視聴メニューから [音声] を選んでも切り換えられます。

-  を押しても音声が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

ディスクの情報を見る

1 **画面表示** を押す

テレビ画面に表示されます。もう一度押すと表示が消えます。再生中と停止中で表示される情報が異なります。

BONUSVIEW や BD-LIVE を楽しむ

本機は BD ビデオの BONUSVIEW や BD-LIVE に対応しています。

BONUSVIEW 対応の BD ビデオでは、第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー) (31 ページ)、第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) (31 ページ) などが楽しめます。BD-LIVE 対応の BD ビデオでは、インターネットを経由して、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできます。

BD ビデオに記録されているデータや BD-LIVE からダウンロードしたデータは、USB メモリー (外部メモリー) に保存されます。これらの機能を楽しむときは、USB 2.0 High Speed (480 Mbit/s) 対応の USB メモリー (最小容量 1 GB、推奨 2 GB 以上) を本体前面部の **USB 端子** に接続してください。

- USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- USB メモリーに保存されている情報を再生するときは、ダウンロードしたときに視聴していたディスクをセットしてください (他のディスクをセットしているときは、USB メモリーに保存されている情報を再生できません)。
- 他のデータが記録された USB メモリーを使用すると、映像や音声が正しく再生されないことがあります。
- 再生中は USB メモリーを取り外さないでください。
- データの読み込み、書き込みに時間がかかることがあります。

⚠ **ご注意**

- USB メモリーの空き容量が少ないと、BONUSVIEW や BD-LIVE 機能が使えないことがあります。このときは [基本設定] → [システム] → [BUDA] を選んで、USB メモリー内の不要なデータを消去してください (**30 ページ**)。

📄 **お知らせ**

- 接続する USB メモリーの動作保証はできません。
- BD-LIVE 機能のデータなどの再生はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- BD-LIVE 機能を楽しむには、ネットワークの接続と設定をしてください (**16**、**31 ページ**)。
- BD-LIVE 機能でインターネットに接続するときの制限については [BD-LIVE 接続] をご覧ください (**31 ページ**)。
- BD-LIVE は、自動でインターネットに接続して楽しむ機能です。BD-LIVE 対応ディスクが、本機やディスクの識別信号 (ID) をインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。
- 自動でインターネットに接続しないように設定できません。[基本設定] → [ネットワーク] → [BD-LIVE 接続] を選んで、設定を [一部許可] または [禁止] にしてください。詳しくは **31 ページ** をご覧ください。

再生機能について

ディスクやファイルによってできる機能が異なります。下記の表でご確認ください。

機能※ ¹	ディスク/ファイルの種類									
	BD-ROM	BD-R/-RE	DVD ビデオ	DVD-R /-RW (VRフォーマット)	AVCREC	AVCHD	映像 ファイル	画像 ファイル	音声 ファイル	音楽 CD
早見再生 / 遅見再生※ ²	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
早送り / 早戻し※ ³	○※ ⁴	○※ ⁴	○※ ⁴	○※ ⁴	○※ ⁴	○※ ⁴	○※ ⁴	×	○※ ⁵	○※ ⁵
30 秒送り / 10 秒戻し	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
タイトル / チャプター / トラックを指定して 再生する	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
頭出し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スロー再生※ ^{6,7}	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
コマ送り※ ^{3,8}	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
A-B リピート※ ³	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
リピート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
アングル切替※ ⁹	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
字幕切替※ ¹⁰	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
音声切替※ ¹¹	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
ディスク情報表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※¹ 表で [○] になっていても、ディスクやファイルによって働かない機能があります。

※² Dolby TrueHD や DTS-HD Master Audio など、音声フォーマットによっては、早送りまたはスロー再生になり音声が出ない場合があります。

※³ チャプターが切り換わると、自動で通常の再生に戻るディスクもあります。

※⁴ 早送り / 早戻し中は音声が出ません。

※⁵ 早送り / 早戻し中も音声が出ます。

※⁶ スロー再生中は音声が出ません。

※⁷ 逆スロー再生はできません。

※⁸ コマ戻し再生はできません。

※⁹ 複数のアングルが収録されていないディスクもあります。

※¹⁰ 収録されている字幕の種類はディスクによって異なります。

・現在の字幕と収録されている字幕の総数が表示されませんがすぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。

※¹¹ 音声収録されていないディスクもあります。

視聴メニューを使う



本機の動作状況に応じて、いろいろな機能呼び出せます。

1 再生中に を押す

視聴メニュー画面が表示されます。



2 項目を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

お知らせ

・変更できない項目もあります。また、本機の状態によって選択できる項目が異なります。

❖ 選んだ項目の設定を変更するには

 /  で選びます。

❖ 視聴メニューを終了するには

 を押します。

❖ 視聴メニュー項目一覧

項目	効果
 タイトル (トラック) ※ ¹	再生中のタイトル番号 / 総タイトル数 (トラック番号 / 総トラック番号) を表示します。また、選んだタイトル (トラック) を再生できます。
 チャプター	再生中のチャプター / 総チャプター数を表示します。また、選んだチャプターを再生できます。
 ファイル	再生中のファイル / 総ファイル数を表示します。また、選んだファイルを再生できます。
 時間	タイトル / チャプターの経過時間または残り時間を表示します。時間を指定して再生することもできます。たとえば、45 分 30 秒から再生したいときは、 <input type="text" value="0"/> ~ <input type="text" value="9"/> (数字ボタン) で、0、0、4、5、3、0、を押して、  (決定ボタン) を押します。
 モード	再生モードを切り換えます。
 音声	BD-ROM/DVD ビデオの音声を切り換えます。
 アングル	BD-ROM/DVD ビデオのアングルを切り換えます。
 字幕	字幕を切り換えます (21 ページ)。
 字幕タイプ	字幕の文字タイプを切り換えます。
 コードページ	DivX 用外部字幕の言語を切り換えます。
 第 2 映像※ ²	BD-ROM の第 2 映像 (セカンダリービデオ) を切り換えます。
 第 2 音声※ ³	BD-ROM の第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) を切り換えます。
 ビットレート	音声 / 映像 / 第 2 映像のレートを表示します。
 静止画オフ	BD-ROM の静止画状態を解除します。
 30 秒送り	すばやく 30 秒先に進み、再生します。
 10 秒戻し	すばやく 10 秒前に戻し、再生します。
 スライドショー	画像ファイルのスライドショー再生中に速度を変更できます。
 画面切替	画像ファイルのスライドショー再生中に、画像の切り替わり方法を変更できます。

※¹ ディスクの種類によって、いずれかの情報が表示されます。

※² [第 2 映像マーク] を [オン] に設定すると、第 2 映像が収録されている場面で第 2 映像マークが表示されます (31 ページ)。




※³ [第 2 音声マーク] を [オン] に設定すると、第 2 音声 that 収録されている場面で第 2 音声マークが表示されます (31 ページ)。

お知らせ


- ディスクによって、選択できる機能が異なります。
- 収録されている第 2 音声の種類はディスクによって異なります。
- 第 2 映像や第 2 音声 that 収録されていない BD-ROM もあります。
- 現在の第 2 映像 / 第 2 音声と収録されている第 2 映像 / 第 2 音声の総数が表示されないですぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。

❖ タイトル / チャプター / トラック / ファイルを指定して再生する

1 [タイトル] または [チャプター (トラック / ファイル)] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。




2 再生したいタイトルまたはチャプター (トラック / ファイル) を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。




- 選んだタイトルまたはチャプター (トラック / ファイル) の再生を始めます。

❖ 順不同に再生する (ランダム / シャッフル再生)

1 [モード] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

2 再生したいモードの種類を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

- **ランダム再生**
指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラック または ファイル) で順不同に再生します。同じものが続けて再生されることもあります。
- **シャッフル再生**
指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラック または ファイル) で順不同に再生します。すべてのものを 1 回ずつ再生します。
- ディスクやファイルによってできる機能が異なります。下記の表でご確認ください。

モード		ディスク / ファイルの種類			
		DVD ビデオ	DVD-R/-RW (VR フォーマット)	映像 画像 音声 ファイル	音楽 CD
ランダム再生	[ランダム] [全ランダム]	○	○	○	○
	[タイトルランダム]	○	○	×	×
	[チャプターランダム]	○	○	×	×
シャッフル再生	[シャッフル] [全シャッフル]	○	○	○	○
	[タイトルシャッフル]	○	○	×	×
	[チャプターシャッフル]	○	○	×	×
[ノーマル] 通常の再生		○	○	○	○

お知らせ

- BD および AVCREC、AVCHD フォーマットのディスクは、ランダム / シャッフル再生できません ([モード] は選べません)。
- ディスクによってできない機能もあります。

指定した箇所から続けて再生する (つづき見再生)

電源をオフにしても、次回再生するときに指定した箇所から続けて再生できます。

つづき見指定する

つづき見をしたい箇所を指定します。

- 1 **再生中**につづき見したい箇所で **つづき見** を押す

- 画面右上に指定した箇所の再生経過時間が表示されます。

つづき見再生する

指定した箇所を呼び出します。

- 1 **再生** を押して再生する

つづき見再生の確認画面が表示されます。

- 以下のときにつづき見の確認画面が表示されます。

[BD ビデオの場合]

一本編再生後に表示されます。

[録画したディスクの場合]

フォルダーを選択し、つづき見を登録したタイトルを再生したあとに表示されます。

- 2 **[はい]** を選んで決定する

で選んで、**決定** を押します。

- 指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ

開/閉

- **▲** を押すと、つづき見再生の設定は解除されます。
- 正しくつづき見再生できないディスクもあります。

SOURCE から再生する

ディスクまたは USB に記録されている、画像、音声または映像のタイトル/フォルダー/トラック/ファイルを一覧で表示できます (SOURCE)。SOURCE から再生できるディスクは下記のとおりです。4 ページもあわせてご覧ください。

再生可能なディスク

- BD-R/-RE
- DVD-R/-RW (VR フォーマット)
- AVCREC フォーマットで記録されている DVD
- 画像および音声ファイルなどのデータファイルだけが記録されている DVD/CD

お知らせ

- 本機で表示できない記号や文字を含んだタイトル名、フォルダー名などは、正しく表示されないことがあります。

BD-R/-RE、DVD-R/-RW (VR フォーマット) を再生する

- 1 **ソース選択** **SOURCE** を押して SOURCE を表示する

- 2 **ディスク** を選ぶ

で選んで、**決定** を押します。



- 3 **フォルダー** を選ぶ

- 4 **タイトル** を選ぶ

で選んで、**決定** を押します。

- 再生を始めます。

❖ SOURCE を終了するには

ソース選択 **SOURCE** を押します。



お知らせ

- BD-R/-RE には、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。
- 映像や音声为正しく出力されないときは、「故障かな? と思ったら」をご覧ください (40 ページ)。



画像 / 音声 / 映像ファイルを再生する

1  を押して SOURCE を表示する

2 ディスクまたは USB を選ぶ



 で選んで、 を押します。




3 [写真]/[音楽]/[映像] を選ぶ

 で選んで、 を押します。



4 ファイルを選んで再生する

 で選んで、 を押します。

- 選んだファイルから再生を始めます。
- フォルダの中再生したいファイルがある場合は、そのフォルダを選んで  を押すと、中のファイルが表示されます。
-  を押すと、1つ前のファイルを再生します。
-  を押すと、1つ先のファイルを再生します。

お知らせ

- 接続している機器や状態によって、再生開始や画面の切り換えなどに時間がかかることがあります。
- この機能から再生できないファイルもあります。
- 再生回数が制限されているファイルもあります。

❖ 画像のスライドショー再生について

ディスクまたはフォルダ内の画像ファイルを、自動で切り換えて表示します。

❖ 画像の表示方向について

- スライドショー再生中または静止画再生中に、

 で画像の表示方向を変更できます。

-  を押すとスライドショーに戻ります。

お好みの順に再生する(プレイリスト)

画像 / 音声 / 映像ファイルが記録されたディスクや USB デバイスから、プレイリストにお好みのファイルを追加できます。


❖ ファイルを追加する(プレイリスト作成)

1 「画像 / 音声 / 映像ファイルを再生する」の手順 1 ~ 3 を実行する(左記)



2 追加するファイルを選ぶ

 で選びます。

3 プレイリストメニューを表示する

 を押します。

4 [プレイリストに追加] を選ぶ



 で選んで、 を押します。

- さらに追加するときは、手順 1 ~ 4 を繰り返します。



❖ プレイリストを再生する

1  を押して SOURCE を表示する



2 プレイリストを選ぶ

 で選んで、 を押します。

3 プレイリストを作成した [写真]/[音楽]/[映像] を選ぶ

 で選んで、 を押します。



4 ファイルを選んで再生する

 で選んで、 を押します。



- 選んだファイルから再生が始まります。

❖ トラック / ファイルをリストから削除する

1 削除したいトラック / ファイルを選ぶ

 で選んで、 を押します。

2 [プレイリストから削除] を選んで決定する






 で選んで、 を押します。

ビデオ調整機能を使用する

画面の設定をお好みに合わせ調整することができます。

1  を押してビデオ調整画面を表示させる

2 設定する項目を選んで調整する

 /  で項目を選んで、 /  で設定を変更します。設定が終了したら、 を押して設定画面を閉じます。

項目	効果
明るさ	明るさを調整します。
コントラスト	色の濃さを調整します。
色合い	緑と赤のバランスを調整します。
彩度	色の彩度を調整します。

❖ ビデオ調整画面を終了するには

 または  を押します。


お知らせ

- ホームメニュー（Source、ウェブコンテンツ、本体設定）、視聴メニュー、ディスクメニューのいずれかを表示中はビデオ調整を行うことができません。




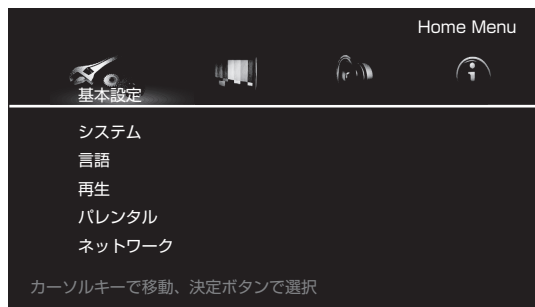
設定を変更する

設定画面を操作する

1 停止中にホームメニューを表示する

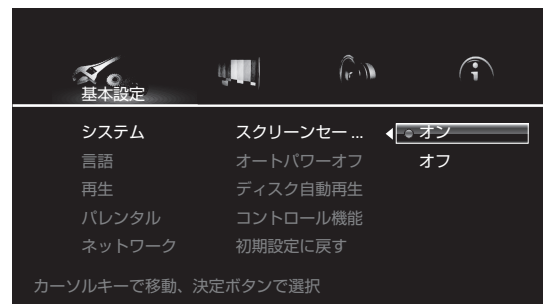
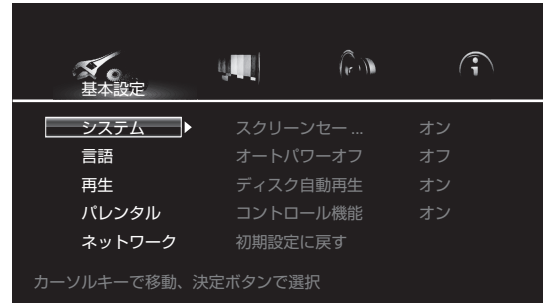
ホーム
メニューを押します。

2 設定の種類を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

3 項目を選んで設定を変更する

 /  /  /  で選んで、 を押し
ます。



❖ ホームメニュー画面を終了するには

ホーム
メニュー または  を押します。

お知らせ

- ・ 変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- ・ **太字**はお買い上げ時の設定です。

設定項目	選択項目	説明	
システム	スクリーンセーバー	オン 再生を停止、または一時停止してから 10 分以上ボタンを操作しないと、自動でスクリーンセーバーが始まります。 ホームメニューまたは SOURCE を表示してから 10 分以上ボタンを操作しないと、自動でスクリーンセーバーが始まります。 本体、またはリモコンを操作するとスクリーンセーバーは終わります。	
		オフ スクリーンセーバーを起動しません。	
	オートパワーオフ	オフ	自動で電源をオフにしないときに選びます。
		15 分	再生を停止してから 15 分または 30 分以上ボタンを操作しないと、自動で電源がオフになります。
		30 分	
	ディスク自動再生	オン	本機の電源が入ると、自動的にディスクトレイにあるディスクを再生するときに選びます。
		オフ	 (再生ボタン) を押してから再生するときに選びます。
	コントロール機能	オン	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作するときに選びます。「HDMI によるコントロール機能について」もあわせてご覧ください (11 ページ)。
		オフ	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで、本機を操作しないときに選びます。
	初期設定に戻す	すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ・ 設定を変更したいときは、設定をやり直してください。	
アップデート	USB メモリーから更新用ファイルをダウンロードし、本機のソフトウェアをアップデートします (37 ページ)。		
BUDA	USB デバイス内の BUDA 保存容量を表示します。[BUDA 消去] を選んで  (決定ボタン) を押すと、すべてのデータが消去されます。BUDA については「用語解説」をご覧ください (46 ページ)。		
クイック起動設定	オン	起動の時間を短縮したいときに選びます。	
	オフ	通常の起動をしたいときに選びます。	
言語	画面表示	日本語	テレビ画面に表示される操作画面の言語を日本語で表示するときに選びます。
		English	テレビ画面に表示される操作画面の言語を英語で表示するときに選びます。
	ディスクメニュー ^{*1}	日本語	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を日本語で表示するときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を英語で表示するときに選びます。
		その他の言語	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を選択した言語で表示するときに選びます。設定画面を見ながら選択してください。
	音声 ^{*1}	日本語	BD-ROM または DVD ビデオの音声を日本語で聞くときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオの音声を英語で聞くときに選びます。
		その他の言語	BD-ROM または DVD ビデオの音声を選択した言語で聞くときに選びます。設定画面を見ながら選択してください。
	字幕 ^{*1}	日本語	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を日本語で表示するときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を英語で表示するときに選びます。
		その他の言語	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を選択した言語で表示するときに選びます。設定画面を見ながら選択してください。

設定項目	選択項目	説明	
再生	アングルマーク ^{*2}	オン テレビ画面にアングルマークを表示するときに選びます (21、24 ページ)。 オフ テレビ画面にアングルマークを表示しないときに選びます。	
	第2映像マーク ^{*2}	オン テレビ画面に第2映像マークを表示するときに選びます (24 ページ)。 オフ テレビ画面に第2映像マークを表示しないときに選びます。	
	第2音声マーク ^{*2}	オン テレビ画面に第2音声マークを表示するときに選びます (24 ページ)。 オフ テレビ画面に第2音声マークを表示しないときに選びます。	
	ラストメモリー ^{*2}	オン ディスクトレイを開けたあとや本機をスタンバイ状態にしたあとでも、停止した場所を記憶して、続きから再生したいときに選びます。 オフ つづき見再生 (26 ページ) のみを使用したいときに選びます。	
	PBC (プレイバックコントロール) メニュー	オン PBC 対応のビデオ CD (バージョン 2.0) のメニュー画面からディスクを再生するときに選びます。 オフ PBC 対応のビデオ CD (バージョン 2.0) のメニュー画面を表示しないときに選びます。	
	DivX® VOD DRM	DivX ファイルを再生するときに必要な登録コードを表示します。	
	パレンタル	パスワード変更	視聴制限を設定する、または視聴が制限されている BD/DVD を再生するために必要なパスワードを変更 (登録) します。詳しくは、「パスワードを変更する」をご覧ください (32 ページ)。お買い上げ時の初期パスワードは「0000」に設定されています。
視聴制限		本機の視聴制限レベルを変更します。詳しくは「ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する」をご覧ください (32 ページ)。	
国 / 地域		国 / 地域コードを変更します。設定画面を見ながら選択してください。	
ネットワーク	情報	インターフェイス、アドレスタイプ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS などのネットワーク情報を表示します。	
	接続テスト	ネットワーク接続をテストし、状態を表示します。	
	IP アドレス設定	自動	本機や DNS サーバーの IP アドレス設定を自動でするときに選びます。
		手動	本機や DNS サーバーの IP アドレス設定を手動でするときに選びます。詳しくは「IP アドレスを設定する」(33 ページ) をご覧ください。
	BD-LIVE 接続 ^{*3}	許可	すべてのディスクの BD-LIVE 接続を許可します。
一部許可		安全性が確認できたディスクのみ、BD-LIVE 接続を許可します。	
禁止		すべてのディスクの BD-LIVE 接続を禁止します。	

*1 ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。




*2 機能に対応していないディスクでは使用できません。

*3 BD-LIVE 機能を使用するには、USB メモリーを本機に接続する必要があります (15 ページ)。




❖ パスワードを変更する



視聴制限を設定するとき、または視聴制限のあるディスクを再生するときに必要なパスワードを変更（登録）します。

1 [パレנטラル] → [パスワード変更] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。




2 パスワードを入力する



数字ボタン ( ~ ) で番号を入力して、 を押します。

 /  でカーソルを移動します。






3 新しいパスワードを入力する



数字ボタン ( ~ ) で番号を入力して、 を押します。

 /  でカーソルを移動します。



4 新しいパスワードを再入力する

数字ボタン ( ~ ) で番号を入力して、 を押します。

 /  でカーソルを移動します。

- パスワードを変更するとき、すでに登録しているパスワードを入力してから新しいパスワードを入力します。




📌 お知らせ

- お買い上げ時の設定では「0000」になっています。
- パスワードはメモしておくことをお勧めします。
- パスワードを忘れてしまったときは、本機の設定をお買い上げ時の設定に戻してから再度パスワードを登録してください。




❖ ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する




暴力シーンなどを含むBD/DVDには、視聴制限のレベルを設けたディスクがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクよりも小さく設定しておくこと、これらのディスクの視聴を制限できます。

1 [パレנטラル] → [視聴制限] を選んで決定する




 /  で選んで、 を押します。

2 パスワードを入力する

数字ボタン ( ~ ) で番号を入力して、 を押します。

 /  で選んで、 を押します。

3 レベルを選ぶ

 /  で選んで、 を押します。

視聴制限レベルは [レベル1] から [レベル8] まで設定できます。






- 視聴制限レベルのあるディスクを再生するときは、パスワードの入力が必要になります。
- 視聴制限レベルは、それぞれの国 / 地域により異なります。視聴制限に関係なくディスクを再生したい場合は、設定を [オフ] にしてください。

❖ IP アドレスを設定する


インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

1 [ネットワーク] → [IP アドレス設定] を選んで決定する


 /  で選んで、 を押します。

2 IP アドレスを設定する

 /  /  /  で本機や DNS サーバーの


IP アドレスを設定して、 を押します。

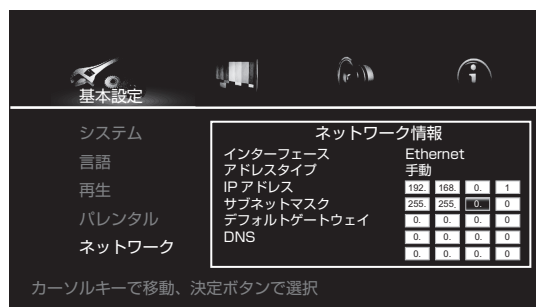
● IP アドレスを自動取得できるとき



[自動] を選んで、 を押します。


— IP アドレスが自動的に取得されます。

● IP アドレスを手動で設定するとき

[手動] を選んで、 を押します。



ご使用の環境に合わせて、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNS] をそれぞれ、**数字ボタン** ( ~ ) で入力してください。




入力がすべて終わったら、 を押します。

お知らせ




- IP アドレスを設定したら、[接続テスト] を選び、接続が正しくされているかご確認ください。
- DHCP サーバー機能については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 手動で IP アドレスを設定するときは、プロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してから設定してください。

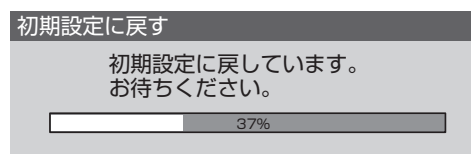
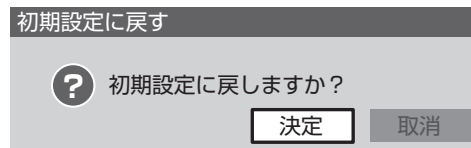
❖ すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 [システム] → [初期設定に戻す] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

2 [決定] を選んで決定する





 /  で選んで、 を押します。



設定の初期化が完了すると、「はじめに」の画面が表示されま

お知らせ

- ・変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- ・**太字**はお買い上げ時の設定です。

設定項目	選択項目	説明
接続テレビ設定	16:9 ワイド 	16:9 のワイドテレビに接続しているときに選びます。4:3 の映像を左右に引き伸ばして全画面に表示します。
	16:9 ノーマル 	16:9 のワイドテレビに接続しているときに選びます。4:3 の映像の左右に黒い帯を入れて表示します。
	4:3 パンスキャン 	4:3 のテレビに接続しているときに選びます。16:9 の映像の左右をカットして全画面に表示します。
	4:3 レターボックス 	4:3 のテレビに接続しているときに選びます。16:9 の映像の上下に黒い帯を入れて表示します。
解像度	自動	[自動] は、画面の解像度を自動で出力します。
	480p	[自動] に設定することで、お使いのテレビに最適な解像度で出力します。ブルーレイディスクはもちろん、DVD の映像もアップスケーリング機能により最も良い画質でお楽しみいただけます。
	720p	[自動] 以外は、選んだ設定の解像度で映像を出力します。
	1080i	
	1080p	リモコンの  (HDMI ボタン) でも解像度を切り換えられます。  (HDMI ボタン) を押すたびに解像度が切り換わります。
カラースペース	RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が薄く黒色が浮いて見えるときには、こちらを選んでください。
	YCbCr444	映像を色差信号 (YCbCr4:4:4) で出力するときに選びます。
	YCbCr422	映像を色差信号 (YCbCr4:2:2) で出力するときに選びます。
	フル RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が濃く黒色が沈んで見えるときには、こちらを選んでください。
HDMI Deep Color	自動	最適なビットカラーを自動で出力する場合に選びます。
	オフ	通常の 24 ビットカラーで出力する場合に選びます。

お知らせ

- ・変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- ・**太字**はお買い上げ時の設定です。

設定項目	選択項目	説明	
音声出力	サウンドレトリバー	オン オフ	圧縮音声は圧縮処理される際、削除されてしまう部分が発生します。サウンドレトリバー機能をオンにすると、削除されてしまった部分を補って音質を向上させます。
	デジタル音声出力	ビットストリーム	デジタル音声信号をそのまま出力するときに選びます。
		PCM	デジタル音声信号を 2 チャンネルの音声信号に換えて出力するときに選びます。
		再エンコード	セカンダリーオーディオ、インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するときに、それらをミキシングして Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力します。
	オフ	デジタル音声信号を使用しないときに選びます。	
HDMI 音声出力	ビットストリーム	HDMI 音声信号をそのまま出力するときに選びます。	
	PCM	HDMI 音声信号を PCM 音声信号に換えて出力するときに選びます。	
	再エンコード	セカンダリーオーディオ、インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するときに、それらをミキシングして Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力します。	
	オフ	HDMI 音声信号を使用しないときに選びます。	
最大サンプリング周波数	48K	設定されたサンプリング周波数以下に制限した音声を、 デジタル音声出力端子 から出力します。接続する機器の性能に合わせて選んでください。	
	96K		
	192K		
<ul style="list-style-type: none"> ・本設定の設定値以下のサンプリング周波数のディスクやファイルを再生する場合は、そのままのサンプリング周波数で出力します。 ・サンプリング周波数が 192 kHz を超えるものは再生できません。 ・著作権保護されたディスクやファイルを再生するときは、設定に関係なく 48 kHz 以下に制限して出力します。 			
DRC (ダイナミックレンジコントロール) *	オフ	DRC 機能を使わずに音声を出力するときに選びます。	
	オン	大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るときなどに選びます。	
	自動	ディスクの音声入力に合わせて、DRC 機能のオンとオフを自動で設定するときに選びます。Dolby TrueHD の信号にのみ有効です。	
ダウンミックス	ステレオ	リニア PCM 音声に変換されたサラウンド音声を 2 チャンネル (ステレオ) 音声に変換して出力します。	
	Lt/Rt	リニア PCM 音声に変換されたサラウンド音声を Dolby Surround 対応の 2 チャンネル音声に変換して出力します (接続した AV アンプなどが Dolby Pro Logic 対応のとき、AV アンプはサラウンド音声で出力します)。	

*

- ・Dolby Digital や Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus などの音声に効果があります。
- ・DRC は下記の**音声出力端子**から出力される音声に効果があります。
 - 一 音声出力端子から出力されるアナログ音声
 - 一 デジタル音声出力端子または HDMI 出力端子から出力されるリニア PCM 音声
- ・ディスクによっては効果が小さいことがあります。
- ・スピーカーや AV アンプの設定によって、効果が異なることがあります。

❖ デジタルオーディオフォーマットの出力について

設定	ビットストリーム		PCM		再エンコード		
変換方法	第1音声(映画などのメインの音声)だけを出力します。第2音声、インタラクティブオーディオは出力できません。		第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換して、同時に出力します。 ^{*1}		第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換してから、Dolby Digital音声やDTS音声に再変換して同時に出力します。 ^{*2}		
出力端子 音声の種類	HDMI出力端子	デジタル音声出力端子	HDMI出力端子	デジタル音声出力端子	HDMI出力端子	デジタル音声出力端子	音声出力端子
Dolby Digital	Dolby Digital	Dolby Digital	PCM 5.1ch	PCM 2ch ^{*4}	Dolby Digital	Dolby Digital	2ch ^{*4}
Dolby Digital Plus	Dolby Digital Plus	Dolby Digital	PCM 7.1ch				
Dolby TrueHD ^{*3}	Dolby TrueHD	Dolby Digital	PCM 7.1ch				
DTS Digital Surround	DTS Digital Surround	DTS Digital Surround	PCM 5.1ch		DTS Digital Surround	DTS Digital Surround	
DTS-HD High Resolution Audio ^{*3}	DTS-HD High Resolution Audio	DTS Digital Surround	PCM 7.1ch				
DTS-HD Master Audio ^{*3}	DTS-HD Master Audio	DTS Digital Surround	PCM 7.1ch				
PCM	PCM 7.1ch	PCM 2ch ^{*4}	PCM 7.1ch		Dolby Digital	Dolby Digital	
AAC	AAC	AAC	PCM 5.1ch		AAC	AAC	

^{*1} 早見再生および遅見再生時は設定によらず、PCM 設定時と同様の音声出力となります。ただし、LFE チャンネルは出力されません。(5.1 → 5.0、7.1 → 7.0)

^{*2} 第2音声やインタラクティブオーディオがないときは、ディスクによっては再エンコードしないで出力することがあります。

^{*3} 早見再生および遅見再生はできません。

^{*4} マルチチャンネル音声のときは2チャンネル音声に変換して出力します。

お知らせ

- ディスクによっては、チャンネル数が異なることがあります。
- 接続している HDMI 機器によっては、HDMI の出力音声やチャンネル数が異なることがあります。
- [解像度] が [480p] に設定されているとき、または [自動] に設定されていても接続機器が 480p にしか対応していないときは、HDMI の出力音声やチャンネル数が異なることがあります。
- BD ビデオには 3 つの音声記録されています。
 - 第1音声：メインになる音声です。
 - 第2音声：映画の監督や俳優のコメントなど、付録で追加された音声です。
 - インタラクティブオーディオ：操作したときのクリック音などの音声です。インタラクティブオーディオはディスクによって異なります。

システム情報画面を見る

1 停止中にホームメニューを表示する

ホーム
メニュー

 を押します。

❖ システム情報画面を終了するには

ホーム
メニュー

 を押します。

2 [システム情報] を選ぶ

 で選びます。

- 本機のソフトウェアのバージョンなどの情報が表示されます。
- 本機で使用しているソフトウェアのライセンスを表示するときは [License] を選びます。

本機のソフトウェアを更新する (アップデート)

本機は下記の方法でソフトウェアを更新できます。

● USB メモリーを使用した更新

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/av_pc/bdp/blu/

！ ご注意

- ソフトウェアの更新中に下記のことをしないでください。更新が中止され、誤動作することがあります。
 - USB メモリーを抜く
 - 電源コードを抜く
 - リセットボタンを押す
- ダウンロードと更新の処理があり、それぞれ時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの更新中に他の操作はできません。また、更新中は中止できません。

お知らせ

- 更新用ファイルが弊社ホームページで公開されているときは、お手持ちのコンピュータで USB メモリーにダウンロードしてください。更新用ファイルのダウンロードについては、弊社ホームページに記載された説明をご確認ください。
- 更新用ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。フォルダーの中には保存しないでください。
- USB メモリーには、更新用ファイル以外のファイルは入れないでください。
- 本機は FAT32、FAT16 または NTFS でフォーマットした USB メモリーに対応しています。お手持ちのコンピュータで USB メモリーをフォーマットするときは、下記の設定でフォーマットしてください。
 - ファイルシステム：FAT32
 - アロケーションユニットサイズ：標準のアロケーションサイズ
- USB メモリーに保存する更新用ファイルは、最新のもの 1 つだけにしてください。
- USB メモリーを本機に接続するときは、USB 延長ケーブルを使用しないでください。USB 延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。

1 更新用ファイルの記録された USB メモリーを接続する




- USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。

2 停止中にホームメニューを表示する




ホーム
メニュー

 を押します。




3 [基本設定] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。




4 [システム] を選んで決定する

 /  で選んで、 を押します。

5 [アップデート] を選んで決定する

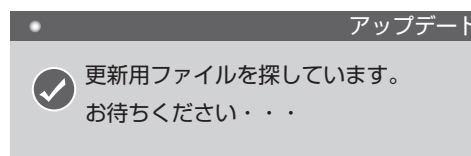
 /  で選んで、 を押します。

6 [USB] を選んで決定する


 /  で選んで、 を押します。



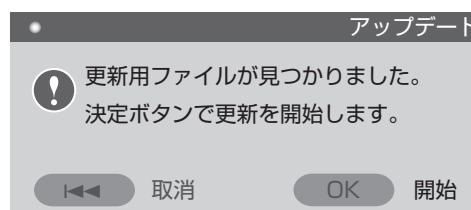
更新用ファイルのチェック中に下記の画面が表示されます。



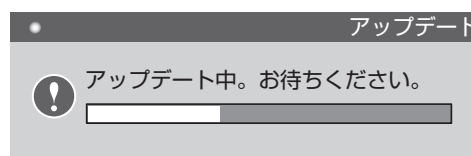
7 更新を開始する

 を押します。

- 更新しないときは  を押して取り消します。



ソフトウェアの更新が始まり、下記の画面が表示されます。



- 更新が終了すると、本機が自動で再起動します。

8 設定を行う

再起動したあとに、「はじめに」の画面が表示されます。

9 ソフトウェアのバージョンを確認する

「システム情報画面を見る」(36 ページ) の手順で、ソフトウェアが正しく更新されたことを確認してください。

使用上のご注意

本機を移動する場合のご注意

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の **電源** **STANDBY/ON**

ボタン (またはリモコンの ) を押して、表示窓の [OFF]

表示が消えて 10 秒以上待ってから、電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビや AV システムの近くの安定した場所を選んでください。

テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)

❖ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

❖ 通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

❖ 熱を受けないようにする

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上へのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

⚠ 注意

- ◆ 本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 本機の使用環境温度範囲は +5 ℃ ~ +35 ℃、使用環境湿度は 85 % 以下 (通風孔が妨げられていないこと) です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光 (または人工の強い光) の当たる場所に設置しないでください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源をオンにしたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ~ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて


本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ~ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めますので避けてください。

化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの  を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『保証とアフターサービス』(51 ページ) をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの取り扱いについて

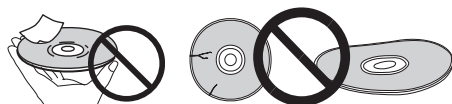
損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。

ディスクを一度に2枚以上入れないでください。

ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

ディスクのレーベル面の記入には、鉛筆やボールペンなどの筆先の硬いものを使用しないでください。



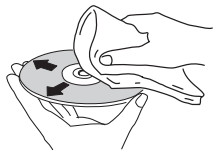
❖ 保管

必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。

ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

❖ ディスクのお手入れ

ディスクに指紋やホコリが付くと、再生できなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

❖ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



❖ ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると正常に再生できないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器（テレビなど）もあわせて確認してください。弊社ホームページにも「商品についてよくあるお問い合わせ（FAQ）」を掲載しております。

<http://pioneer.jp/support/purpose/faq/>


パイオニア サポート で **検索** してください。



それでも正常に動作しないときは『保証とアフターサービス』(51 ページ) をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

再生しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
<ul style="list-style-type: none"> ディスクが再生できない。 ディスクトレイが自動で開く。 	本機で再生できるディスクですか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できるディスクか確認してください (4 ページ)。 ファイナライズされていないディスクは再生できません。
	本機で再生できるファイルですか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できるファイルか確認してください (7 ページ)。 ファイルが壊れていないか確認してください。
	ディスクに傷がついていませんか。	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください (39 ページ)。
	ディスクに紙やシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。
	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 印刷面が上になるようにセットしてください。 ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機が再生できるディスクのリージョンナンバーを確認してください (5 ページ)。
映像が映らない。または、映像がきれいに映らない。	HDMI ケーブルが正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください (12、13 ページ)。 ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 ケーブルを一度抜いて、接続し直してください。
	HDMI ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください (39 ページ)。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機が再生できるディスクのリージョンナンバーを確認してください (5 ページ)。
	接続しているテレビまたは AV アンプの入力は正しいですか。	接続している機器の取扱説明書をご覧ください。
	解像度は正しく設定されていますか。	HDMI (HDMI ボタン) で映像と音声が出力される解像度に切り換えてください (34 ページ)。
	ハイスピード HDMI [®] /TM ケーブル以外の HDMI ケーブル (スタンダード HDMI [®] /TM ケーブル) で接続していませんか。	ハイスピード HDMI [®] /TM ケーブルを使ってテレビと接続してください。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器を接続すると映像が正しく映らないことがあります。
	[カラースペース] が正しく設定されていますか。	[カラースペース] の設定を変更してください (34 ページ)。
		コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声为正しく出力されない場合があります。これは故障ではありません。
再生が止まる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機に衝撃を与えたり、不安定な場所に置いたりしたときは、再生が止まる場合があります。 再生中に USB デバイスの接続 / 取り外しをすると、再生が停止することがあります。再生中に USB デバイスの接続 / 取り外しはしないでください。 	

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
テレビ画面が止まって操作できない。		<p>停止</p> <p> (停止ボタン) を押して再生を停止してから、再度再生してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 停止できないときは、本体前面部の STANDBY/ON ボタン を押して電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 電源をオフ (スタンバイ状態) にできないときに、細い棒を使って本体前面部の リセットボタン を押します。押しすと本機の電源がオフ (スタンバイ状態) になります。この STANDBY/ON ボタン を押して電源をオンにすると再度操作ができるようになります。 傷がついているディスクは再生できないことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 映像が伸びている。 映像が切れている。 縦横比が切り換えられない。 	テレビの縦横比は正しく設定されていますか。	テレビの取扱説明書をご覧ください。テレビの縦横比を正しく設定してください。
	本機の [テレビの縦横比] は正しく設定されていますか。	本機の [テレビの縦横比] を正しく設定してください (34 ページ)。
映像がとぎれる。		HDMI 出力端子から 1080/24p、1080/60i、1080/60p、または 720/60p の解像度で映像を出力しているときは、[テレビの縦横比] が [4:3] に設定されていても 16:9 で出力されることがあります (34 ページ)。
映像がとぎれる。		記録されている映像の解像度が切り換わるときに映像がとぎれることがあります。[解像度] を [自動] 以外に設定してください (34 ページ)。
画面に四角のノイズ (モザイク) が出る。		デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック上の画像が目立つことがあります。
字幕が切り換えられない。		レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。
<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない。 音声が正しく出力されない。 	音量が最小になっていませんか。	テレビまたは AV アンプの音量が最小になっているときは、音量を上げてください。
	スロー再生、早送り / 早戻ししていませんか。	スロー再生中、早送り / 早戻し中は音声が出力されません。
	音声ケーブルが正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください (14 ページ)。 ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
	音声ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください (39 ページ)。
	接続している機器 (AV アンプなど) は正しく設定されていますか。	接続している機器の取扱説明書をご覧ください。音量、入力、およびスピーカーの設定などを確認してください。
	[HDMI 音声出力] を正しく設定していますか。	[HDMI 音声出力] の設定を [再エンコード] または [PCM] に設定してください (35 ページ)。
	解像度は正しく設定されていますか。	HDMI (HDMI ボタン) で映像と音声が出力される解像度に切り換えてください (34 ページ)。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器に接続しているときは、 HDMI 出力端子 から音声が出力されません。 デジタル音声出力端子 または 音声出力端子 に接続してください (14 ページ)。
	<ul style="list-style-type: none"> BD によっては デジタル音声出力端子、または HDMI 出力端子 からだけ音声を出力します。 オーディオ信号以外の音声または規格外の音声が記録されているディスクでは、音声が出力されないことがあります。 コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声が正しく出力されない場合があります。これは故障ではありません。 	
音が左右逆になる / 片方しか音が出ない。	音声ケーブルが正しく接続されていますか。	音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていないか確認してください (14 ページ)。
マルチチャンネル音声が出力されない。	接続している AV アンプなどの音声出力は正しく設定されていますか。	接続している AV アンプの取扱説明書をご覧ください。AV アンプの音声出力の設定を確認してください。
	マルチチャンネル音声を選んでいませんか。	メニュー画面または 音声ボタン でディスクの音声をマルチチャンネル音声に切り換えてください。
デジタル音声出力端子から DTS Digital Surround を出力すると雑音聞こえる。	接続している AV アンプは DTS Digital Surround に対応していますか。	デジタル音声出力端子に DTS Digital Surround に対応していない AV アンプを接続しているときは、[デジタル音声出力] を [PCM] に設定してください (35 ページ)。
デジタル音声出力端子から 192 kHz または 96 kHz のデジタル音声が出力できない。		<ul style="list-style-type: none"> 著作権保護された音声は、48 kHz 以下に変換して出力されます。 [最大サンプリング周波数] を [96kHz] または [192kHz] に設定してください (35 ページ)。
第 2 音声 (セカンダリオーディオ) またはインタラクティブオーディオが出力されない。	[HDMI 音声出力] は正しく設定されていますか。	HDMI 出力端子の音声を聞いているときは、[HDMI 音声出力] を [再エンコード] または [PCM] に設定してください (35 ページ)。
	[デジタル音声出力] は正しく設定されていますか。	デジタル音声出力端子の音声を聞いているときは、[デジタル音声出力] を [再エンコード] または [PCM] に設定してください (35 ページ)。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ディスクをセットしたあと、「読込中」と表示されたまま再生が始まらない。	ディスクに記録されているファイル数が多すぎませんか。	ファイルが記録されているディスクをセットしたとき、記録されているファイル数によっては読み込みに数分から数十分かかることがあります。
ファイル名などに「■」が表示される。		本機で表示できない文字は■で表示されます。
BD-ROM を再生しているときに記憶領域（ローカルストレージ）不足のメッセージが表示された。		<ul style="list-style-type: none"> • USB デバイスを接続してください。 • [BUDA] でデータを消去してください (30 ページ)。

コントロール機能

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
コントロール機能が働かない。	HDMI ケーブルが正しく接続されていますか。	コントロール機能を使うときは、テレビや AV アンプを HDMI 出力端子 に接続してください (12、13 ページ)。
	お使いの HDMI ケーブルはハイスピード HDMI [®] /TM ケーブルですか。	ハイスピード HDMI [®] /TM ケーブルをお使いください。それ以外の HDMI ケーブルでは HDMI によるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
	本機の [コントロール機能] が [オン] に設定されていますか。	本機の [コントロール機能] を [オン] に設定してください (30 ページ)。
	接続している機器がコントロール機能に対応していますか。	<ul style="list-style-type: none"> • コントロール機能と互換性のない機器と HDMI ケーブルを使って接続してもコントロール機能は動きません。 • コントロール機能に対応している機器と本機の間、コントロール機能に対応していない機器または他社の機器が接続されているときは動きません。 • コントロール機能に対応している機器と接続しても、機能によっては働かないことがあります。 接続している機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
	接続している機器のコントロール機能がオンに設定されていますか。	接続している機器の [コントロール機能] を [オン] に設定してください。コントロール機能は、 HDMI 出力端子 に接続されているすべての機器のコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。 接続および各機器の設定が完了したら、本機の映像がテレビに出力されているか必ず確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がテレビに正しく出力されていないと、コントロール機能が正常に動作しないことがあります。 詳しくは、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。
	複数のプレーヤーを接続していませんか。	本機を含めて 4 台以上のプレーヤーが HDMI ケーブルで接続されていると、働かないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • 他社の機器と HDMI ケーブルを使って接続してもコントロール機能は動きません。 • 接続しているテレビによっては働かないことがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ネットワークに接続できない。		<ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルを奥までしっかりと差し込んでください (16 ページ)。 モジュラーケーブルでは接続しないでください。LAN(10/100) 端子には LAN ケーブルを使用してください。 イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムの電源がオンになっているか確認してください。 イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムが正しく接続されているか確認してください。 ネットワークの設定を確認してください。
BD-LIVE 機能 (BD のインターネット接続) が使えない。		<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの接続と設定を確認してください。 USB メモリーを接続してください。 USB メモリーのデータを消去してください。 BD-LIVE 機能対応の BD-ROM か確認してください。 接続テストを実行してください (31 ページ)。「ネットワークの接続テストに成功しました。」と表示されたときは、[基本設定] → [ネットワーク] → [情報] で設定を確認してください (31 ページ)。また、インターネットの接続に問題がある可能性があります。プロバイダーにご相談ください。
BD-LIVE に対応したディスクを読み込むときに「BD のインターネット接続を許可しますか?」と表示される。		BD-ROM のネットワーク接続証明書が無効なときに表示されます。接続を許可しないときは [いいえ] を選んでください。
接続テストを実行すると「ネットワークの接続テストに成功しました。」以外のメッセージが表示された。	「LAN ケーブルが接続されていません。」と表示されますか。	本機とイーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) が正しく接続されているか確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 「IP アドレスを取得できません。」と表示されますか。 「ゲートウェイから応答がありません。」と表示されますか。 	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスを自動で設定したときは、[情報] で正しく設定されているか確認してください (31 ページ)。詳しくは、イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の取扱説明書をご覧ください。 IP アドレスを手動で設定してください。
	「IP アドレスが重複しています。」と表示されますか。	<ul style="list-style-type: none"> イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 本機の IP アドレスを手動で設定したときは、本機または他機器の IP アドレスを設定し直してください。
	イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) は正しく動作していますか。	<ul style="list-style-type: none"> イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) を再起動してください。

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください (16 ページ)。 電源コードを一度抜いて、数秒後にふたたびコンセントに差し込んでください。
本機の電源が自動でオフになる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	HDMI 出力端子に接続しているテレビの電源をオフにすると、連動して本機の電源がオフになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオフにしたいときは、[コントロール機能] を [オフ] に設定してください (30 ページ)。
	[オートパワーオフ] が [15 分] または [30 分] に設定されていませんか。	[オートパワーオフ] が [15 分] または [30 分] に設定されていて、15 分または 30 分以上本機の操作がないと、自動で電源がオフになります。自動で電源をオフにしたいときは [オートパワーオフ] を [オフ] に設定してください (30 ページ)。
本機の電源が自動でオンになる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	HDMI 出力端子に接続しているテレビの電源をオンにすると、連動して本機の電源がオンになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオンにしたいときは、[コントロール機能] を [オフ] に設定してください (30 ページ)。
本機を操作できない。		<ul style="list-style-type: none"> 許容動作温度内でご使用ください (48 ページ)。 電源をオフ (スタンバイ状態) にできないときに、細い棒を使って本体前面部のリセットボタンを押します。押すと本機の電源がオフ (スタンバイ状態) になります。⓪ STANDBY/ON ボタンを押して電源をオンにすると再度操作ができるようになります。
リモコンで操作できない。	本体から離れた場所で操作していませんか。	リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。
	電池がなくなっていないですか。	電池を交換してください (3 ページ)。
テレビが正しく操作できない。		リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してお使いください。
使用中に本体が熱くなる。		本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。
接続しているテレビや AV アンプなどの入力が自動で切り換わる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	本機が再生を開始したり本機の操作画面 (SOURCE など) を表示すると、HDMI 出力端子に接続されたテレビや AV アンプの入力が自動で本機に切り換わる場合があります。テレビや AV アンプの入力を自動で切り換えたくないときは [コントロール機能] を [オフ] に設定してください (30 ページ)。
設定した内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源がオンのときに電源コードを抜いていませんか。 停電が起きていませんか。 	電源コードは、必ず本体前面部の ⓪ STANDBY/ON ボタン、 電源 またはリモコンの  (電源ボタン) を押して本体表示窓の「OFF」が消えてから抜いてください。特に、他機器の AC アウトレットに本機の電源コードを接続しているときは、その機器の電源と連動して本機の電源がオフになりますのでご注意ください。
「処理に失敗しました。」と表示される。		何回も繰り返し表示される場合は、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください (裏表紙)。
USB デバイスが正しく動作しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 本機の電源をオフにして、USB デバイスを接続し直してください (15 ページ)。
	USB 延長ケーブルを使用していませんか。	USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機が正しく動作しないことがあります。
	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを經由して USB 端子に USB デバイスを接続していませんか。	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを經由して USB デバイスを接続すると、動作しないことがあります。
	USB デバイ스에複数のパーティションを設定していませんか。	USB デバイ스에複数のパーティションを設定しているときは、認識しないことがあります。
	USB デバイスが書き込み禁止になっていませんか。	本機の電源をオフにしてから USB デバイスの書き込み禁止を解除してください。
	USB デバイスのファイルシステムは FAT16、FAT32 または NTFS ですか。	FAT16、FAT32 または NTFS のファイルシステムで初期化されている USB デバイスだけ使用できます。
		USB デバイスによっては動作しないことがあります。

▼ アングル (マルチアングル)

BD-ROM または DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルの映像を同時に記録できます。記録されているアングルからお好きなものを選んで楽しめます。

▼ イーサネット

同じ場所にある複数のコンピューターなどを接続するローカルエリアネットワーク (LAN) の規格です。本機は 10BASE-T/100BASE-TX に対応しています。

▼ インターレーススキャン (飛び越し走査)

映像の 1 画面を 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面 (フレーム) を表示します。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて (1080i など) 表記してあります。

▼ インタラクティブオーディオ

BD-ROM のタイトルに収録されている音声です。たとえば、メニュー画面を操作しているときのクリック音などのことです。

▼ サブネットマスク

サブネット (分割して管理されるネットワーク) を表す部分が IP アドレスのどの部分かを識別するのに使われます。「255.255.255.0」のように表示されます。

▼ 視聴制限

「ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する」をご覧ください (32 ページ)。

▼ 第 2 映像 (セカンダリービデオ)

BD-ROM では、ピクチャーインピクチャー機能により主映像に重ねて表示される副映像が記録されているディスクがあります。この副映像を第 2 映像と言います。

▼ 第 2 音声 (セカンダリーオーディオ)

BD-ROM では、主音声と混合される副音声記録されているディスクがあります。この副音声を第 2 音声と言います。第 2 音声は第 2 映像用の音声として記録されているディスクもあります。

▼ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク間でデータを通わせるルーターなどの通信機器です。送り先のゲートウェイが明示的に設定されていないネットワークにデータを送る際に使われます。

▼ ピクチャーインピクチャー (P in P)

主映像上に副映像を表示する機能のことです。BD-ROM では第 2 映像が収録されているものがあり、主映像に重ねて第 2 映像を表示できます。

▼ フレーム / フィールド

映像の 1 画面を構成する単位をフレームと言います。1080i などのインターレーススキャンの 1 フレームは、フィールドと言われる 2 枚の画面から構成されています。

▼ プログレッシブスキャン (順次走査)

映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像をご覧ください。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて (480p など) 表記してあります。

▼ ポート番号

インターネット上の通信において、複数の相手と同時に接続するために IP アドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

▼ マルチセッション

マルチセッション / マルチボーダーとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッション / ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション / ボーダーと言います。

▼ リージョンナンバー (地域番号)

「リージョンナンバー (地域番号) について」(5 ページ) をご覧ください。

▼ リニア PCM

圧縮をしない音声信号です。

▼ AVCHD (エービーシーエイチディー)

Advanced Video Codec High Definition の略です。「DVD の再生について」(5 ページ) をご覧ください。

▼ AVCREC (エービーシーレック)

「DVD の再生について」(5 ページ) をご覧ください。

▼ BDAV (ビーディーエービー)

Blu-ray Disc Audio/Visual の略です。BD の規格のうち、BS デジタルまたは地上デジタル放送の番組を録画するために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機では BDAV と表しています。

▼ BD-J (ビーディー・ジェー) (Java) アプリケーション

Blu-ray Disc Java の略です。BD ビデオでは、BD-J (Java) アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含む、よりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。

▼ BD-LIVE (ビーディー・ライブ)

Blu-ray Disc Live の略です。「BD の再生について」(5 ページ) をご覧ください。

▼ BDMV (ビーディーエムビー)

Blu-ray Disc Movie の略です。BD の規格のうち、パッケージされたハイビジョン (HD) 映画コンテンツのために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機では BDMV と表しています。

▼ BONUSVIEW (ボーナスビュー)

「BDの再生について」(5 ページ)をご覧ください。

▼ BUDA (ビーユーディーエー)

Binding Unit Data Areaの略です。BD-Liveを使ってダウンロードしたファイルや、遊んだゲームのスコアなどの情報をUSBデバイスに保存できる機能です。

▼ Deep Color (ディープカラー)

「HDMIについて」(11 ページ)をご覧ください。

▼ DHCP (ディーエイチシーピー)

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。ネットワークに接続された機器(コンピューターなど)にIPアドレスなどの設定情報を提供するためのものです。

▼ DivX (ディビックス)

「動画ファイルの対応フォーマット」(6 ページ)をご覧ください。

▼ DNS (ディーエヌエス)

Domain Name Systemの略です。インターネットに接続された機器(ホスト)のホスト名とIPアドレスを対応させるシステムです。

▼ Dolby Digital (ドルビーデジタル)

Dolby Digitalは、通常のPCM音声の数分の1のデータ量で最大5.1チャンネルの音声を収録する音声フォーマットです。

▼ Dolby Digital Plus (ドルビーデジタルプラス)

Dolby Digitalの拡張・改良版であるDolby Digital Plusは、限られたデータ帯域を使って高品質なサラウンド音声を提供する高い効率性と柔軟性を備えた音声フォーマットです。BD-ROMでは、最大7.1チャンネルのデジタル音声を収録できます。

▼ Dolby TrueHD (ドルビートゥルーエイチディー)

元の音声データをまったく同じ音質で再現できる可逆圧縮(ロスレス圧縮)方式を使用した音声フォーマットです。BD-ROMでは、96 kHz/24 bitでは最大8チャンネル、192 kHz/24 bitでは最大6チャンネルの音声を収録できます。

▼ DRM (ディーアールエム)

Digital Rights Managementの略です。デジタルデータの著作権を保護する技術です。デジタル化された動画、画像、または音声などの品質は、複製や送受信の繰り返しによって劣化しません。このようなデジタルデータを著作権者の許諾なしで流通や再生することを制限するための技術です。

▼ DTS Digital Surround (ディーティーエスデジタルサラウンド)

DTS Digital Surroundは、48 kHz/24 bitの音声を5.1チャンネルで収録する音声フォーマットです。

▼ DTS-HD High Resolution Audio (ディーティーエス・エイチディーハイレゾリューションオーディオ)

不可逆圧縮方式を使用した音声フォーマットです。96 kHz/24 bitの7.1チャンネル音声を収録できます。

▼ DTS-HD Master Audio (ディーティーエス・エイチディーマスターオーディオ)

元の音声データとまったく同じ音質を再現できる可逆圧縮(ロスレス圧縮)方式を使用した音声フォーマットです。BDでは、96 kHz/24 bitの7.1チャンネル音声または192 kHz/24 bitの5.1チャンネル音声を収録できます。

▼ HDMI (エイチディーエムアイ)

High-Definition Multimedia Interfaceの略です。「HDMIについて」(11 ページ)をご覧ください。

▼ IP (アイピー) アドレス

インターネットやローカルエリアネットワークに接続されている機器(コンピューターなど)を識別するための番号です。4つに区切られた数字で表されます。

▼ MAC (マック) アドレス

MACはMedia Access Controlの略です。LANカードなどのネットワーク機器に付与される機器固有の識別番号です。

▼ MPEG (エムペグ)

Moving Picture Experts Groupの略です。デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、MPEG-1 Video・MPEG-2 Video・MPEG-4 Visual・MPEG-4 AVCなどがあります。音声の規格には、MPEG-1 Audio・MPEG-2 Audio・MPEG-2 AACなどがあります。

▼ VC-1 (ブイシーワン)

マイクロソフトが開発した動画圧縮方式で、米国映画テレビジョン技術者協会(SMPTE)によって規格化されたものです。BDには、この方式で動画が記録されているディスクがあります。

▼ x.v.Color (エックスブイカラー)

「HDMIについて」(11 ページ)をご覧ください。

▼ USB (ユーエスビー)

Universal Serial Busの略です。USBは、周辺機器をコンピューターに接続するための標準規格です。

BONUS VIEW™

“BONUSVIEW” は Blu-ray Disc Association の商標です。



“BD LIVE” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

AVCHD™

“AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCHD は、高効率な符号化技術を使ってさまざまなメディアに高精細なハイビジョン信号を記録する、ハイビジョン (HD) デジタルビデオカメラの規格です。

AVCREC™

“AVCREC” および AVCREC は商標です。

AVCREC は、BD-RE のコンテンツを DVD で記録 / 再生できるように開発された規格です。



DivX®、DivX Certified®、DivX Plus® HD、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

HDMI

HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。

x.v.Color

“x.v.Color” および **x.v.Color** は、ソニー株式会社の商標です。

“Blu-ray Disc”、“Blu-ray” および “Blu-ray Disc” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS ライセンシングリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS-HD、記号、および DTS と記号の組み合わせは DTS 社の登録商標であり、また、DTS-HD Master Audio | Essential は DTS 社の商標です。© DTS 社 不許複製。

仕様

型番	BDP-3140-K BDP-3140-W		
型名	ブルーレイディスクプレーヤー		
定格電圧	AC100 V		
定格周波数	50 Hz/60 Hz		
消費電力	13 W		
待機時消費電力	0.3 W		
待機時消費電力 (HDMI コントロール オン時)	0.3 W		
待機時消費電力 (クイック起動 オン時)	1 W		
待機時消費電力 (HDMI コントロール オン、クイック起動 オン時)	1 W		
本体質量	1.2 kg		
外形寸法 (突起部含む)	360 mm(幅) × 39 mm(高さ) × 208 mm(奥行)		
許容動作温度	+5 °C ~ +35 °C		
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)		
出力端子	HDMI	1 系統、19 ピン (5 V、250 mA)	
	音声出力	2 チャンネル (左 / 右)	1 系統、ピンジャック
		音声出力レベル	200 mVrms(1 kHz、-20 dB)
		周波数特性	4 Hz ~ 88 kHz(192 kHz サンプリング)
デジタル音声出力	光	1 系統、光デジタルコネクタ	
LAN	1 系統、Ethernet コネクタ (10BASE-T/100BASE-TX)		
USB	1 系統、A タイプ		

お知らせ

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

❖ 異常時の処置



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



万一、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

❖ 設置



付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用いただけません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また、電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。



電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

❖ 使用環境



本機の内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法



本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
















電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

❖ 設置

-  電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
-  電源プラグは、根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
-  電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
-  移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
-  ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
-  本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。
-  窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。
-  本機を調理台や加湿器の近くなど、油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
-  テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
-  本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
-  本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます）。
-  放熱を良くするため他の機器、壁などから間隔をとり、またラックに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - ◆ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ◆ じゅうたんやふとんの上に置く。
 - ◆ テーブルクロスなどをかける。
 - ◆ 横倒しにする。
 - ◆ 逆さまにする。



本機の上に火がついたらろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法



ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



お子様がディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因になることがあります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

❖ 保守・点検



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意

この製品は、レーザー製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品ですが、内部にはクラス 1 のレベルを超える危険なレーザー放射があります。分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス 1 レーザ製品

危険なレーザー放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

CAUTION – CLASS 2 LASER
RADIATION WHEN OPEN
DO NOT STARE INTO THE BEAM

D58-5-2-2b*_B2_Ja

- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なることがあります。

保証書（別添）について

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

！ ご注意

- ・「安全上のご注意」(49 ページ) および「使用上のご注意」(38 ページ) をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします。

補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に **40～44 ページ** の「故障かな? と思ったら」の項目をご確認ください。

それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、裏表紙に記載の修理受付窓口またはお買い求めの販売店へご相談ください。

本品は持ち込み修理対応製品です。

故障して修理をお受けになる場合は、修理受付窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ブルーレイディスクプレーヤー
- 型番：BDP-3140-K
BDP-3140-W
- お買い求め日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

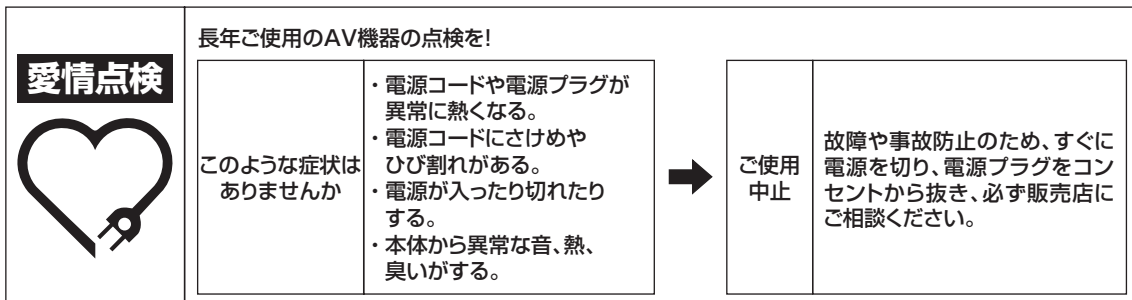
保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。



K026*_A1_Ja

ブルーレイディスクプレーヤーに関するお知らせ

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報(商品についてよくあるお問い合わせ(FAQ))をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/av_pc/bdp/blu/

パイオニア サポート で **検索** してください。



<各窓口へお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。ナビダイヤルは、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また一部のIP電話などからは、ご使用になれません。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

家庭用オーディオ/ビジュアル商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-944-222(無料)**
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-620(ナビダイヤル・有料)**
- ファックス **0570-037-602(ナビダイヤル・有料)**
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせなど

修理についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81028(無料)**
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610(ナビダイヤル・有料)**
- ファックス **0120-5-81029(無料)**
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>
※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

部品のご購入についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

● 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81095(無料)**
【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140(ナビダイヤル・有料)**
- ファックス **0120-5-81096(無料)**
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>
※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください

平成27年3月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.01

© 2015 パイオニアホームエレクトロニクス株式会社 禁無断転載

パイオニアホームエレクトロニクス株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号



72-BD3140-JXEB1

<72-BD3140-JXEB1>